2021年度（令和３年度）
第３回福山市市政モニター調査報告書

【集計結果】

2021年（令和3年）12月

福山市

《目　次》

１　調査目的 1

２　調査の仕様 1

３　調査結果 5

（１）（仮称）福山市地域戦略について 5

（２）第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 に向けた

持続可能なばらのまちづくりについて 18

（３）地域のデジタル化について 46

（４）属性 61

１　調査目的

幅広い世代の様々な立場の市民等から意見を聴き，政策や市政運営に繋げることで，市民に身近な市政を実現するため。

２　調査の仕様

（１）調査項目

○　（仮称）福山市地域戦略について

○　第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 に向けた持続可能なばらのまちづくりについて

○　地域のデジタル化について

（２）調査対象

16 歳以上の福山市民又は市外在住で福山市政に関心のある方で福山市市政モニターに登録された方

766 人（インターネット回答者 475 人　郵送回答者 291 人）

（３）調査方法

インターネット（福山市電子申請サービス）及び郵送により実施

（４）調査期間

2021 年（令和３年）10 月 27 日～2021 年（令和３年）11 月 10 日

（５）分析方法

単純集計及び属性（年齢，性別，地域，職業等，子育て世帯）のクロス集計を実施

（６）調査集計にあたっての留意事項

〇回答結果は小数点第２桁目を四捨五入しています。この関係で，単数回答（複数の選択肢から一つだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。

〇複数回答（２つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合，回答は有効回答数全体に対して各々の割合を示すものであり，各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。

〇本文中の設問の選択肢が長い場合は，簡略化している場合があります。

〇本報告書においてクロス集計は，無回答がある為，合計人数は全体の人数と合致しません。

〇クロス集計で，母数が少ない項目に関しては，分析文を省略しています。

〇クロス集計で，母数が少ない項目に関しては，一部集計から除いています。この場合，属性毎の合計人数は全体の人数と合致しません。

〇クロス集計で，属性毎（年齢，性別，地域，職業等，子育て世帯）の回答率が全体の回答率と比べ，下記表のプラス・マイナス値より大きければ，有意な差があったと見なします。有意差があり，プラス値であれば「赤字」，マイナス値であれば「青字」で表示しています。

〇クロス集計における分析コメントは，原則として有意差がプラスの項目に記載しています。

■属性毎の有意差とする値

集計対象	有意差
年齢別集計	±10.0 ポイント
性別集計	±5.0 ポイント
地域別集計	±10.0 ポイント
職業等別集計	±10.0 ポイント
子育て世帯の有無別集計	±5.0 ポイント

（７）発送・回収状況

	発送数	回収数	回収率
インターネット回答	475 件	308 件	64.8%
郵送回答	291 件	203 件	69.8%
合計	766 件	511 件	66.7%

※注　郵送で案内を送って，ネットでご回答いただいた方　15 名

【年齢】

区分	モニター数	回答数	回答率
10 歳代	50 件	28 件	56.0%
20 歳代	122 件	64 件	52.5%
30 歳代	140 件	91 件	65.0%
40 歳代	129 件	84 件	65.1%
50 歳代	104 件	70 件	67.3%
60 歳代	101 件	78 件	77.2%
70 歳以上	120 件	96 件	80.0%
合計	766 件	511 件	66.7%

【性別】

区分	モニター数	回答数	回答率
男性	362 件	239 件	66.0%
女性	399 件	269 件	67.4%
その他	5 件	3 件	60.0%
合計	766 件	511 件	66.7%

【地域】

区分	モニター数	回答数	回答率
中部	340 件	226 件	66.5%
南部	49 件	30 件	61.2%
松永	41 件	28 件	68.3%
北部	113 件	74 件	65.5%
東部	107 件	77 件	72.0%
神辺	56 件	40 件	71.4%
市内（小学校区不明）	50 件	31 件	62.0%
市外	10 件	5 件	50.0%
合計	766 件	511 件	66.7%

【職業等】

区分	モニター数	回答数	回答率
正規雇用労働者	284 件	168 件	59.2%
非正規雇用労働者	82 件	63 件	76.8%
自営業	51 件	35 件	68.6%
学生	80 件	47 件	58.8%
主夫・主婦	124 件	91 件	73.4%
その他	145 件	107 件	73.8%
合計	766 件	511 件	66.7%

【子育て世帯】

区分	モニター数	回答数	回答率
はい	206 件	134 件	65.0%
いいえ	490 件	333 件	68.0%
不明	70 件	44 件	62.9%
合計	766 件	511 件	66.7%

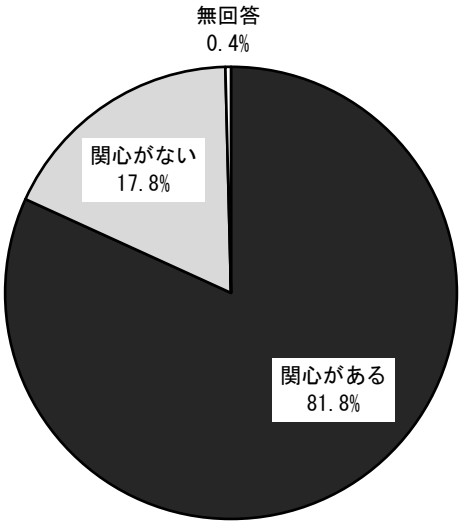
3　調査結果

（１）（仮称）福山市地域戦略について

問１　まちづくりに関心がありますか。【単数回答】

「関心がある」が 81.8%を占めています。

回答者数：511件



性別でみると，『男性』の方が「「関心がある」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，大きな差はみられません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
関心がある	81.8	86.2	77.7	100.0	79.9	83.5	75.0
関心がない	17.8	13.8	21.6	－	20.1	15.9	25.0
無回答	0.4	－	0.7	－	－	0.6	－

年齢別でみると，『10 歳代』『20 歳代』『30 歳代』『50 歳代』の「関心がない」の割合が全体平均よりも高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
関心がある	81.8	71.4	76.6	75.8	88.1	78.6	89.7	84.4
関心がない	17.8	28.6	23.4	24.2	11.9	21.4	9.0	14.6
無回答	0.4	－	－	－	－	－	1.3	1.0

地域別でみると，大きな差はみられません。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
関心がある	81.8	85.8	80.0	82.1	78.4	79.2	77.5	74.2	80.0
関心がない	17.8	13.7	20.0	17.9	21.6	20.8	20.0	25.8	20.0
無回答	0.4	0.4	－	－	－	－	2.5	－	－

職業等別でみると，『自営業』では「関心がある」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
関心がある	81.8	78.6	90.5	100.0	76.9	72.3	84.1
関心がない	17.8	21.4	9.5	－	20.9	27.7	15.9
無回答	0.4	－	－	－	2.2	－	－

【問１で「関心がある」と答えた方にお聞きします。】

問２　まちづくりに関心を持ったきっかけを記入してください。【自由記述】

【回答（抜粋）】

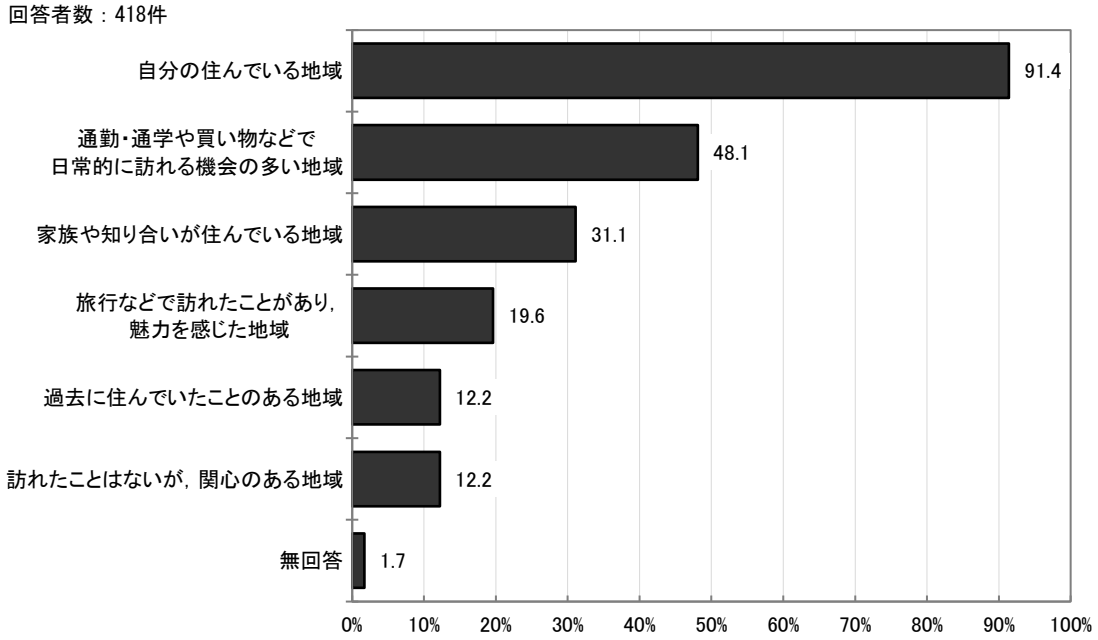
内　容	年代	地域
学校で，街づくりに関する講演会等を聞いて。	10 歳代	南部
より良い町に住むためには自分から動く必要があると思うから。	10 歳代	中部
小学生で学校まで通学する時，見守ってくださる方々がいたので，興味を持った。	10 歳代	中部
市政モニターに選ばれたことで，福山市について興味を持つようになったこと。	20 歳代	中部
大学でまちづくりについて学んだから。	20 歳代	北部
福山でも今まで行った事のない山野や広瀬の方に行った時に，豊かな自然があって，こんな環境が福山にあるのなら，魅力を生かしたらいいのにとすごく感じます。	20 歳代	神辺
子育てをする中で不満に思うことがあったから。	30 歳代	神辺
親が地域で生き生きと活動しているのをみて。	30 歳代	中部
いろんな方に助けていただいてきたので，産まれ育った街に恩返しとなるようなことが何かできないかと思い始めたから	30 歳代	市内（小学校区不明）
生まれ育った街だが，地元に戻る同級生や友人が少ないから。戻って来たいと思える街にしたい。	30 歳代	南部
ボランティア活動を行う中で，地域の活性化につながったり，子どもたちの成長につながれる活動だと感じたから。	30 歳代	東部
事業，消防団，商工会などの活動経験を通して。	40 歳代	中部
自分の居住空間や地域が素敵になるのは自分のためにも，家族のためにもなる。より良い環境作りに参加する事は喜ばしいことです。	40 歳代	東部
地域コミュニティの力が弱くなってきているから。	40 歳代	北部
地域の人間関係が薄れていると感じるため。	50 歳代	松永
県外からの来客を案内して市内を回った時，一緒に買い物に行ったりして楽しんでもらえる場所を探したため。	50 歳代	神辺
店が少なくなり買い物が不便になったと思ったから。	60 歳代	東部
モニター経験によるところが大きい。駅前再開発をとても身近に感じることができた。	60 歳代	中部
趣味を通していろいろな場所，会合等多くなり，出ることが楽しくなった。	60 歳代	中部
町内会役員をやるようになったことがスタート。	60 歳代	北部

以前は恩返しの意味からでしたが，現状は今の町内会をみると，加入率は低下し学区を背負える団体としては力不足を感じており，何とかしないといけないと言う思いから。	60 歳代	中部
町を歩いていて，ここはもっときれいに，〇〇があればという思いが強くある。	60 歳代	南部
福山城や鞆の浦のボランティアガイドをするようになったため。	70 歳以上	中部
退職後やっと自分及び自分の周囲に関心を持てるようになった。それまでは，仕事場と家庭を行き来するだけでしたが，余裕ができて初めて周囲に対する関心が持てるようになり，まちづくりにも関心が持てるようになった。	70 歳以上	中部

【問１で「関心がある」と答えた方にお聞きします。】

問３　まちづくりに関わってみたいと思う地域について，当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「自分の住んでいる地域」が 91.4%で最も高くなっています。次いで「通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域」が 48.1%，「家族や知り合いが住んでいる地域」が 31.1%で続いています。



性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「自分の住んでいる地域」以外の選択肢を回答した割合が，相対的に低い傾向にあります。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	418	206	209	3	107	278	33
自分の住んでいる地域	91.4	91.3	91.4	100.0	96.3	89.2	93.9
通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域	48.1	44.7	51.7	33.3	43.9	52.2	27.3
家族や知り合いが住んでいる地域	31.1	32.5	29.2	66.7	27.1	32.4	33.3
旅行などで訪れたことがあり，魅力を感じた地域	19.6	17.0	22.5	－	17.8	19.4	27.3
過去に住んでいたことのある地域	12.2	13.1	11.5	－	8.4	12.6	21.2
訪れたことはないが，関心のある地域	12.2	15.5	9.1	－	9.3	12.6	18.2
無回答	1.7	1.0	2.4	－	0.9	1.8	3.0

年齢別でみると，『10 歳代』では「過去に住んでいたことのある地域」の割合が高くなっています。また，他の年齢に比べ『30 歳代』では「家族や知り合いが住んでいる地域」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	418	20	49	69	74	55	70	81
自分の住んでいる地域	91.4	90.0	89.8	92.8	94.6	92.7	90.0	88.9
通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域	48.1	40.0	49.0	49.3	50.0	47.3	42.9	51.9
家族や知り合いが住んでいる地域	31.1	35.0	30.6	39.1	25.7	30.9	30.0	29.6
旅行などで訪れたことがあり，魅力を感じた地域	19.6	20.0	24.5	15.9	20.3	18.2	11.4	27.2
過去に住んでいたことのある地域	12.2	25.0	8.2	11.6	6.8	16.4	12.9	13.6
訪れたことはないが，関心のある地域	12.2	15.0	14.3	7.2	14.9	14.5	10.0	12.3
無回答	1.7	10.0	2.0	－	1.4	－	2.9	1.2

地域別でみると，『東部』では「通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域」「家族や知り合いが住んでいる地域」「訪れたことはないが，関心のある地域」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	418	194	24	23	58	61	31	23	4
自分の住んでいる地域	91.4	90.2	87.5	100.0	96.6	93.4	87.1	91.3	50.0
通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域	48.1	46.4	41.7	39.1	50.0	54.1	45.2	65.2	25.0
家族や知り合いが住んでいる地域	31.1	27.3	37.5	39.1	24.1	42.6	29.0	34.8	50.0
旅行などで訪れたことがあり，魅力を感じた地域	19.6	19.6	25.0	8.7	12.1	21.3	29.0	21.7	50.0
過去に住んでいたことのある地域	12.2	12.4	12.5	4.3	13.8	11.5	9.7	21.7	－
訪れたことはないが，関心のある地域	12.2	7.7	12.5	－	12.1	23.0	9.7	26.1	75.0
無回答	1.7	2.6	－	－	－	1.6	－	4.3	－

職業等別でみると，『学生』では他の職業等と比べて「過去に住んでいたことのある地域」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	418	132	57	35	70	34	90
自分の住んでいる地域	91.4	91.7	94.7	82.9	95.7	91.2	88.9
通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域	48.1	48.5	57.9	40.0	47.1	52.9	43.3
家族や知り合いが住んでいる地域	31.1	28.8	38.6	28.6	28.6	32.4	32.2
旅行などで訪れたことがあり，魅力を感じた地域	19.6	15.2	19.3	25.7	28.6	29.4	13.3
過去に住んでいたことのある地域	12.2	8.3	8.8	17.1	17.1	23.5	10.0
訪れたことはないが，関心のある地域	12.2	9.8	10.5	14.3	8.6	17.6	16.7
無回答	1.7	－	1.8	2.9	1.4	5.9	2.2

【問１で「関心がない」と答えた方にお聞きします。】

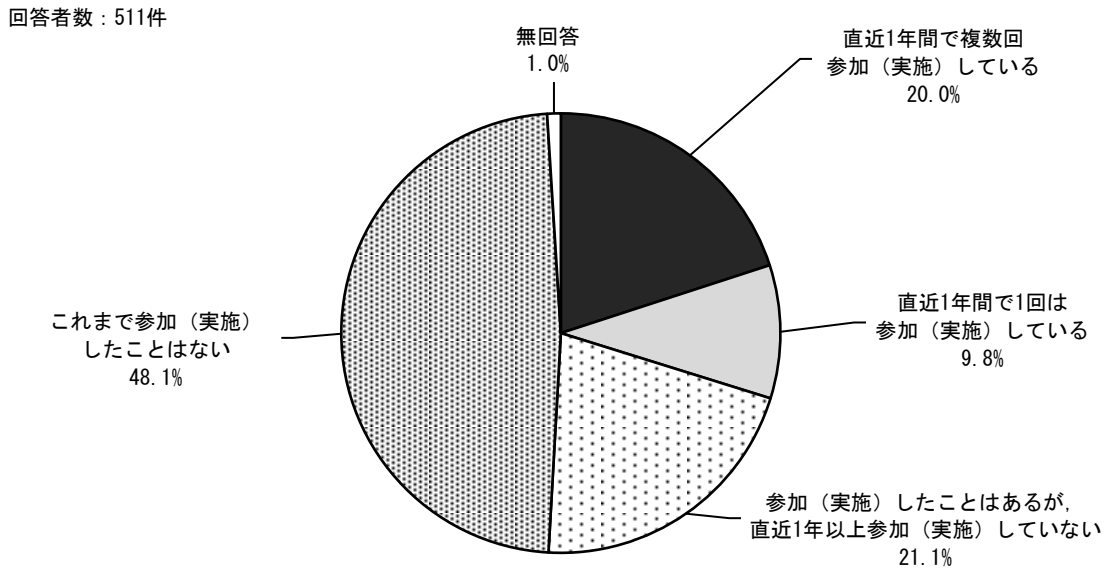
問４　まちづくりに関心がない（持てない）理由を記入してください。【自由記述】

【回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
どんな企画がされているか，そもそも知らない。情報源はどこにあるのか。また，身近で困ったことがあった場合の相談窓口がわからず，意見がまちづくりに反映されるのだろうか？と思う。	10 歳代	東部
将来住み続けようと思っていないから。	10 歳代	中部
地域をより良くすることは，まず行政が行うべきであるため。	20 歳代	市外
将来的に地元に戻ってくるか分からないから。	20 歳代	中部
具体的にどのような取組なのかわからないから。また，良い地域の基準がわからないから。	20 歳代	東部
日々が忙しく，考える余裕がない。自分がまちづくりに参加して役に立てるか自信もない。参加するきっかけもない。よくわからない。	20 歳代	北部
いざ取り組みたいと思っても，いまいち関わり方がわからない。	30 歳代	市内 （小学校区不明）
自分の生活以外に時間をさく余裕がない。	30 歳代	神辺
生活していくことで手一杯なので。	40 歳代	北部
子育てでそれどころではない。	40 歳代	松永
今広島市へ単身赴任中で，福山へ月１回くらいしか帰れないため。	50 歳代	東部
特定の有志しか参加しない行事に思える。	50 歳代	北部
自分の生活と直結している感覚がない。いつも的外れな感じが否めないから。	50 歳代	中部
強制的，半強制的なことが多く，息苦しさを感じる。経済的にも余力がない。	60 歳代	北部
体が不自由だから外出が億劫なため。	60 歳代	中部
年齢的に若い時のような積極性がなくなってきた。	70 歳以上	東部
１人，２人では，まちづくりはできない。	70 歳以上	北部

問５　まちづくりへの参加（実施）頻度について，当てはまるもの１つに「○」を記入してください。【単数回答】

「これまで参加(実施)したことはない」が 48.1%で最も高く，次いで「参加(実施)したことはあるが，直近 1 年以上参加(実施)していない」が 21.1%，「直近 1 年間で複数回参加(実施)している」が 20.0%で続いています。



性別でみると，『男性』では「直近 1 年間で複数回参加(実施)している」の割合が高く，『女性』では「これまで参加(実施)したことはない」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい(子育て世帯)』では「これまで参加(実施)したことはない」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
直近1年間で複数回参加(実施)している	20.0	28.5	12.6	－	13.4	21.3	29.5
直近1年間で1回は参加(実施)している	9.8	10.9	8.9	－	10.4	10.5	2.3
参加(実施)したことはあるが，直近1年以上参加(実施)していない	21.1	19.7	22.7	－	14.2	23.4	25.0
これまで参加(実施)したことはない	48.1	40.2	54.6	100.0	61.9	43.2	43.2
無回答	1.0	0.8	1.1	－	－	1.5	－

年齢別でみると，『10 歳代』『20 歳代』『30 歳代』では「これまで参加(実施)したことはない」の割合が高く，『60 歳代』『70 歳以上』では「直近 1 年間で複数回参加(実施)している」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
直近1年間で複数回参加(実施)している	20.0	3.6	4.7	8.8	15.5	25.7	33.3	34.4
直近1年間で1回は参加(実施)している	9.8	3.6	4.7	6.6	10.7	14.3	11.5	12.5
参加(実施)したことはあるが，直近1年以上参加(実施)していない	21.1	17.9	29.7	9.9	22.6	14.3	21.8	30.2
これまで参加(実施)したことはない	48.1	75.0	60.9	74.7	50.0	45.7	32.1	19.8
無回答	1.0	－	－	－	1.2	－	1.3	3.1

地域別でみると，『南部』では「直近 1 年間で複数回参加（実施）している」の割合が高く，『松永』では「これまで参加（実施）したことはない」の割合が高く，『神辺』では「参加（実施）したことはあるが，直近 1 年以上参加（実施）していない」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
直近1年間で複数回参加（実施）している	20.0	21.2	30.0	17.9	21.6	23.4	10.0	6.5	－
直近1年間で1回は参加（実施）している	9.8	9.7	13.3	7.1	10.8	9.1	10.0	9.7	－
参加（実施）したことはあるが，直近1年以上参加（実施）していない	21.1	18.6	16.7	14.3	28.4	24.7	35.0	3.2	40.0
これまで参加（実施）したことはない	48.1	49.1	40.0	60.7	37.8	42.9	42.5	80.6	60.0
無回答	1.0	1.3	－	－	1.4	－	2.5	－	－

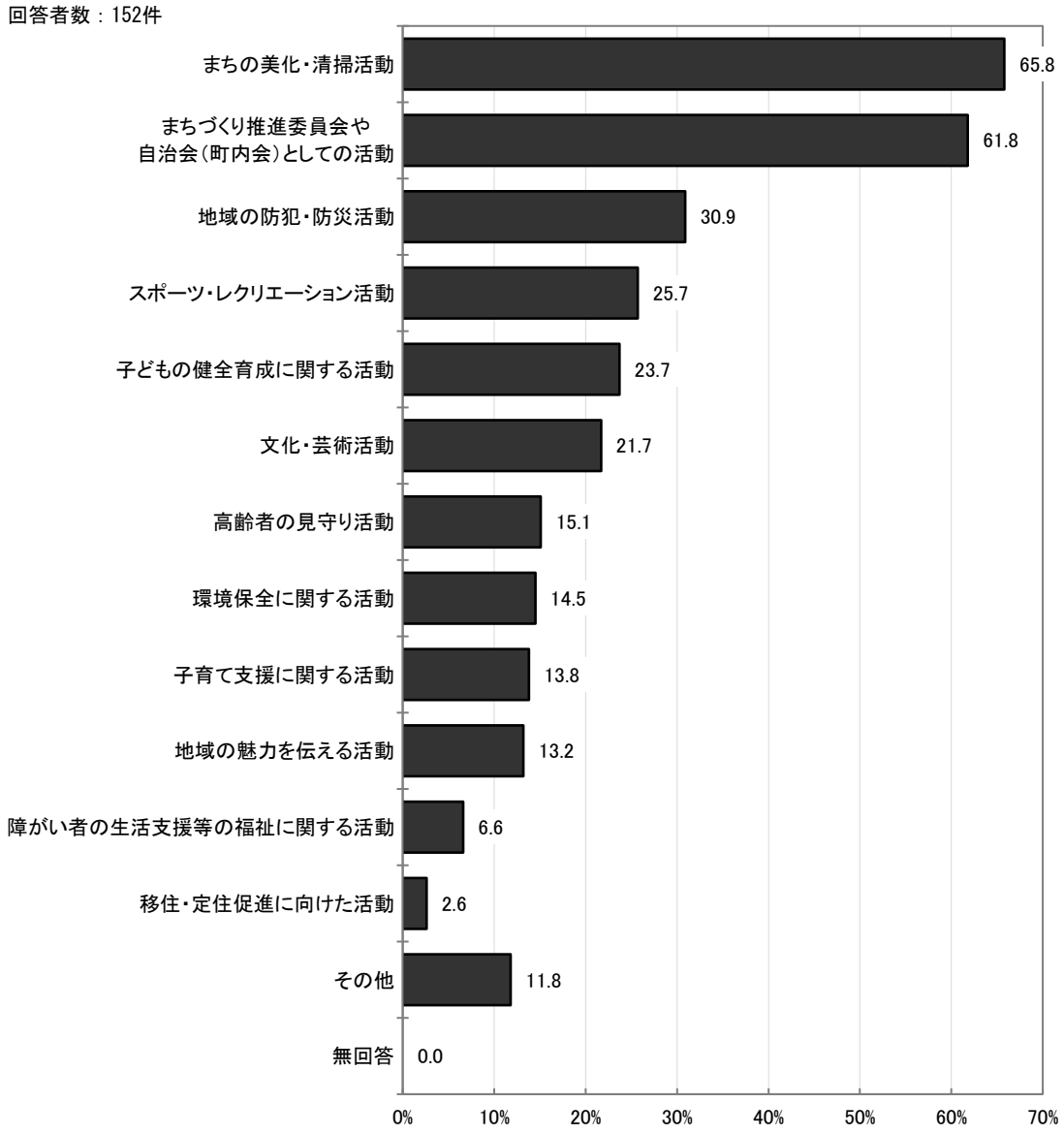
職業等別でみると，『正規雇用労働者』『学生』では「これまで参加（実施）したことはない」の割合が高く，『自営業』では「直近 1 年間で複数回参加（実施）している」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
直近1年間で複数回参加（実施）している	20.0	11.9	15.9	40.0	23.1	6.4	31.8
直近1年間で1回は参加（実施）している	9.8	9.5	11.1	8.6	12.1	6.4	9.3
参加（実施）したことはあるが，直近1年以上参加（実施）していない	21.1	14.9	15.9	25.7	26.4	25.5	26.2
これまで参加（実施）したことはない	48.1	63.1	57.1	25.7	34.1	61.7	32.7
無回答	1.0	0.6	－	－	4.4	－	－

【問５で「直近１年間で複数回参加（実施）している」,「直近１年間で１回は参加（実施）している」と答えた方にお聞きします。】

問６　直近１年間で参加（実施）したまちづくりに当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「まちの美化・清掃活動」が 65.8%で最も高くなっています。次いで「まちづくり推進委員会や自治会（町内会）としての活動」が 61.8%,「地域の防犯・防災活動」が 30.9%で続いています。



【その他回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
外国人留学生への支援	20 歳代	中部
地域イベント（マルシェ）のスタッフとしての活動。	30 歳代	中部
私費で備後・備中の物産をアピールしている。	40 歳代	東部
HP の管理。	50 歳代	中部
地域対象のパソコン教室開催。	60 歳代	中部
獣害への対応，土砂崩れへの対応，大雨への対応。命の危険を感じながらやっている。	60 歳代	神辺
水害に関連のある地域の対策や復旧対策に関心があり，行政機関との連携に努めている。	70 歳以上	中部
「町内会運営に関する諸問題」について冊子を発行した。福山市天然記念物「誰故草・エヒメアヤメ」の保有，栽培の指導書を出版した。	70 歳以上	中部
小学生の登下校時の見守り活動，地域の青色防犯パトロール。	70 歳以上	南部

性別でみると，『男性』では「地域の防犯・防災活動」「文化・芸術活動」の割合が高く，『女性』では「子育て支援に関する活動」の割合が相対的に高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「子育て支援に関する活動」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	152	94	58	－	32	106	14
まちの美化・清掃活動	65.8	67.0	63.8	－	43.8	73.6	57.1
まちづくり推進委員会や自治会（町内会）としての活動	61.8	67.0	53.4	－	53.1	66.0	50.0
地域の防犯・防災活動	30.9	41.5	13.8	－	12.5	37.7	21.4
スポーツ・レクリエーション活動	25.7	29.8	19.0	－	12.5	32.1	7.1
子どもの健全育成に関する活動	23.7	21.3	27.6	－	28.1	22.6	21.4
文化・芸術活動	21.7	28.7	10.3	－	9.4	25.5	21.4
高齢者の見守り活動	15.1	16.0	13.8	－	3.1	17.9	21.4
環境保全に関する活動	14.5	18.1	8.6	－	3.1	17.0	21.4
子育て支援に関する活動	13.8	7.4	24.1	－	37.5	8.5	－
地域の魅力を伝える活動	13.2	16.0	8.6	－	6.3	15.1	14.3
障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	6.6	8.5	3.4	－	6.3	6.6	7.1
移住・定住促進に向けた活動	2.6	3.2	1.7	－	6.3	1.9	－
その他	11.8	12.8	10.3	－	－	16.0	7.1
無回答	－	－	－	－	－	－	－

年齢別でみると,『30 歳代』『40 歳代』では「子育て支援に関する活動」の割合が高く,『70 歳以上』では「地域の防犯・防災活動」「文化・芸術活動」「高齢者の見守り活動」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	152	2	6	14	22	28	35	45
まちの美化・清掃活動	65.8	50.0	33.3	57.1	40.9	64.3	77.1	77.8
まちづくり推進委員会や自治会(町内会)としての活動	61.8	–	–	64.3	45.5	53.6	82.9	68.9
地域の防犯・防災活動	30.9	–	16.7	14.3	13.6	21.4	34.3	51.1
スポーツ・レクリエーション活動	25.7	50.0	–	14.3	18.2	17.9	34.3	33.3
子どもの健全育成に関する活動	23.7	–	33.3	14.3	31.8	25.0	17.1	26.7
文化・芸術活動	21.7	–	16.7	–	13.6	17.9	22.9	35.6
高齢者の見守り活動	15.1	–	–	–	4.5	3.6	14.3	35.6
環境保全に関する活動	14.5	–	–	–	4.5	10.7	22.9	22.2
子育て支援に関する活動	13.8	–	–	28.6	40.9	14.3	5.7	4.4
地域の魅力を伝える活動	13.2	–	50.0	14.3	4.5	3.6	8.6	22.2
障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	6.6	–	–	–	13.6	3.6	8.6	6.7
移住・定住促進に向けた活動	2.6	–	16.7	–	4.5	7.1	–	–
その他	11.8	50.0	16.7	7.1	4.5	10.7	11.4	15.6
無回答	–	–	–	–	–	–	–	–

地域別でみると,『北部』では「環境保全に関する活動」の割合が高く,『東部』では「子どもの健全育成に関する活動」「文化・芸術活動」「地域の魅力を伝える活動」などの割合が相対的に高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	152	70	13	7	24	25	8	5	–
まちの美化・清掃活動	65.8	60.0	61.5	85.7	66.7	72.0	87.5	60.0	–
まちづくり推進委員会や自治会(町内会)としての活動	61.8	57.1	76.9	57.1	79.2	56.0	87.5	–	–
地域の防犯・防災活動	30.9	35.7	7.7	57.1	25.0	32.0	25.0	20.0	–
スポーツ・レクリエーション活動	25.7	31.4	7.7	14.3	29.2	32.0	–	–	–
子どもの健全育成に関する活動	23.7	25.7	30.8	–	12.5	36.0	12.5	20.0	–
文化・芸術活動	21.7	20.0	15.4	42.9	16.7	32.0	25.0	–	–
高齢者の見守り活動	15.1	8.6	15.4	42.9	20.8	24.0	12.5	–	–
環境保全に関する活動	14.5	10.0	15.4	14.3	25.0	12.0	25.0	20.0	–
子育て支援に関する活動	13.8	8.6	15.4	–	12.5	28.0	25.0	20.0	–
地域の魅力を伝える活動	13.2	14.3	7.7	–	8.3	24.0	12.5	–	–
障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	6.6	10.0	–	14.3	4.2	4.0	–	–	–
移住・定住促進に向けた活動	2.6	2.9	–	–	–	8.0	–	–	–
その他	11.8	14.3	7.7	14.3	4.2	12.0	12.5	20.0	–
無回答	–	–	–	–	–	–	–	–	–

職業等別でみると，『自営業』では，「地域の防犯・防災活動」「スポーツ・レクリエーション活動」「文化・芸術活動」の割合が高く，『主夫・主婦』では「高齢者の見守り活動」の割合が，他の職業等と比べて高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	152	36	17	17	32	6	44
まちの美化・清掃活動	65.8	55.6	58.8	52.9	78.1	33.3	77.3
まちづくり推進委員会や自治会（町内会）としての活動	61.8	63.9	47.1	70.6	78.1	－	59.1
地域の防犯・防災活動	30.9	19.4	17.6	47.1	34.4	16.7	38.6
スポーツ・レクリエーション活動	25.7	16.7	23.5	41.2	21.9	16.7	31.8
子どもの健全育成に関する活動	23.7	19.4	35.3	29.4	25.0	16.7	20.5
文化・芸術活動	21.7	13.9	5.9	41.2	21.9	16.7	27.3
高齢者の見守り活動	15.1	2.8	5.9	11.8	31.3	－	20.5
環境保全に関する活動	14.5	5.6	5.9	11.8	21.9	－	22.7
子育て支援に関する活動	13.8	11.1	35.3	29.4	12.5	－	4.5
地域の魅力を伝える活動	13.2	11.1	5.9	17.6	12.5	33.3	13.6
障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	6.6	5.6	11.8	11.8	6.3	－	4.5
移住・定住促進に向けた活動	2.6	5.6	－	5.9	－	16.7	－
その他	11.8	5.6	17.6	11.8	12.5	16.7	13.6
無回答	－	－	－	－	－	－	－

問７　まちづくりに対する関心を高めるために，必要だと思う支援やきっかけ（活動内容の周知啓発，まちづくり活動の拠点施設，相談相手，参加のインセンティブ等），参加したいと思えるまちづくりのやり方（活動時間，頻度，デジタル技術の活用等）や雰囲気（若い人が多い，外部に開かれている等）を記入してください。【自由記述】

【回答（抜粋）】

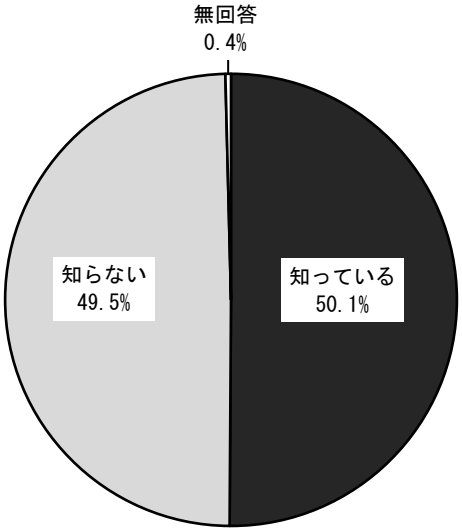
内　容	年代	地域
学校の総合的な学習などでまちづくりについて考える授業を設ける。	10 歳代	中部
意見が言いやすく，一部の人が喜びがあるのではなく，より多くの人が共感を得られること。一つでも実現することができる内容。	10 歳代	北部
より多くの人の目に触れる場所（店舗や公共施設）で多様な参加形態（デジタルかアナログ，申込の要否など）を提示する必要があると思います。参加者へのメリットが分かりやすい事も重要だと思います。	20 歳代	北部
きっかけとしてはボランティア活動が良いと思う。無報酬，有報酬は問わないが，地域の現状や人の思いを知る場があるのは効果的な支援になるだろう。	20 歳代	東部
ネットを使っての意見交換やアンケートの実施。	30 歳代	東部
一人だと参加しにくいので，友人と複数で参加できるようなイベントや，同世代の人と関わりながら活動できることがあると参加しやすいと思います。	30 歳代	神辺
若い人に地域活動に参加してもらうような取組が必要。	30 歳代	松永
子ども医療，保育料等，他の地域に比べ住民全員に優しくない。市の寄り添った姿勢がないから他人事である。他の地域を参考にし，実行してはどうか。	30 歳代	南部
活動内容の周知啓発，活動費の支給。	30 歳代	神辺
車がなくても集える場所が各地にあること。そこで中学生や高校生の年代から頻繁に出入りできる居場所づくり。その中学生や高校生が親になり子どもと訪れたり，高齢者になっても行ったりすることができる場所づくりが必要。	40 歳代	松永
発達障害児でも参加しやすい活動。	40 歳代	中部
情報発信（魅力的な，興味が持てるような），気軽に参加できる，年齢層を固定化しない。	40 歳代	東部
インターネット等を使用したデジタル技術の活用が必要。まずはアクセスしてもらうためのCM発信。定期的にアクセスしてもらえるように，アプリを開発。クーポン等を配るなどのメリットを用意する。	50 歳代	松永
活動に対する評価をしっかりしてあげると，もっと盛り上がる気がする。	50 歳代	北部
境界を越えたまちづくりの活動家たちとの情報交換会に参加したい。	60 歳代	北部
参加する人が同じメンバーに偏りがち。いろいろな人に声かけを行い，楽しかったと思ってもらえるような雰囲気作りが欲しい。	60 歳代	南部
有償ボランティアの活動が必要。	70 歳以上	北部
町内会，老人会，公民館等を利用した広報活動及び家庭内に閉じこもっている老人たちを外に出す活動を行ってほしい。	70 歳以上	中部
住民まちづくりの必要性や活動成果の実態などの周知啓発を徹底する。また，まちづくりに積極的に取り組む姿を住民に見てもらう。	70 歳以上	中部
これからのまちづくりは若い人が中心になって頑張っていただきたい。未来のためにも若い人の考え方を取り入れたまちづくりを行ってほしい。	70 歳以上	東部

（２）第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 に向けた持続可能なばらのまちづくりについて

問１　2025 年（令和７年）５月に，「世界バラ会議福山大会」が開催されることを知っていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

「知っている」が 50.1%，「知らない」が 49.5%となっています。

回答者数：511件



性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，大きな差はみられません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
知っている	50.1	53.6	46.8	66.7	49.3	52.6	34.1
知らない	49.5	46.0	52.8	33.3	50.7	46.8	65.9
無回答	0.4	0.4	0.4	－	－	0.6	－

年齢別でみると，『10 歳代』『20 歳代』では「知らない」の割合が高く，『70 歳以上』では「知っている」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
知っている	50.1	35.7	39.1	53.8	47.6	45.7	51.3	62.5
知らない	49.5	64.3	60.9	46.2	52.4	54.3	47.4	36.5
無回答	0.4	－	－	－	－	－	1.3	1.0

地域別でみると，『中部』『南部』では「知っている」の割合が高く，『松永』『北部』『神辺』『市内（小学校区不明）』では「知らない」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
知っている	50.1	60.6	63.3	32.1	36.5	50.6	40.0	25.8	20.0
知らない	49.5	39.4	33.3	67.9	62.2	49.4	60.0	74.2	80.0
無回答	0.4	－	3.3	－	1.4	－	－	－	－

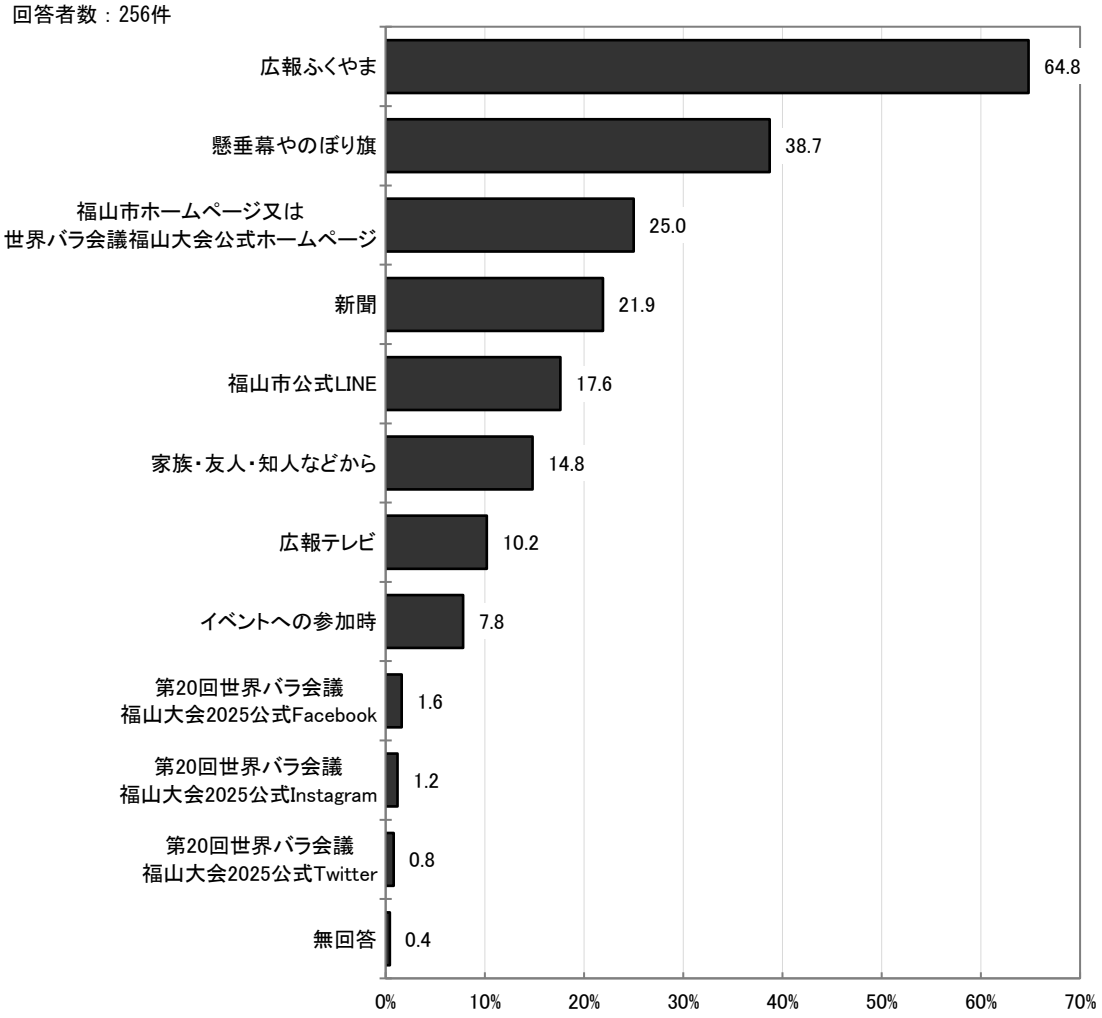
職業等別でみると,『自営業』では「知っている」の割合が高く,『学生』では「知らない」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
知っている	50.1	47.6	52.4	65.7	50.5	38.3	52.3
知らない	49.5	52.4	47.6	31.4	48.4	61.7	47.7
無回答	0.4	−	−	2.9	1.1	−	−

【問１で「知っている」と答えた方にお聞きします。】

問２　世界バラ会議福山大会が開催されることをどこで知りましたか。次の中から当てはまるもの全てに「〇」を記入してください。【複数回答】

「広報ふくやま」が 64.8%で最も高くなっています。次いで「懸垂幕やのぼり旗」が 38.7%,「福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ」が 25.0%で続いています。



性別でみると，『男性』では「広報ふくやま」「新聞」の割合が高く，『女性』では「懸垂幕やのぼり旗」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「懸垂幕やのぼり旗」「福山市公式 LINE」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	256	128	126	2	66	175	15
広報ふくやま	64.8	71.1	59.5	－	53.0	69.1	66.7
懸垂幕やのぼり旗	38.7	32.0	44.4	100.0	43.9	36.0	46.7
福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ	25.0	29.7	20.6	－	18.2	25.1	53.3
新聞	21.9	31.3	12.7	－	7.6	26.3	33.3
福山市公式LINE	17.6	19.5	15.9	－	24.2	16.0	6.7
家族・友人・知人などから	14.8	16.4	13.5	－	12.1	16.6	6.7
広報テレビ	10.2	14.1	6.3	－	3.0	13.1	6.7
イベントへの参加時	7.8	9.4	6.3	－	4.5	9.7	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Facebook	1.6	2.3	0.8	－	－	2.3	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Instagram	1.2	0.8	1.6	－	3.0	0.6	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Twitter	0.8	1.6	－	－	－	1.1	－
無回答	0.4	0.8	－	－	－	0.6	－

年齢別でみると，『10 歳代』では「懸垂幕やのぼり旗」の割合が高く，『20 歳代』では「懸垂幕やのぼり旗」「福山市公式 LINE」の割合が高く，『50 歳代』では「広報ふくやま」「福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ」の割合が高く，『60 歳代』では「広報ふくやま」「新聞」の割合が高く，『70 歳以上』では「広報ふくやま」「福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ」「新聞」「広報テレビ」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	256	10	25	49	40	32	40	60
広報ふくやま	64.8	20.0	12.0	46.9	65.0	84.4	80.0	88.3
懸垂幕やのぼり旗	38.7	60.0	52.0	44.9	47.5	43.8	17.5	30.0
福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ	25.0	30.0	20.0	18.4	20.0	37.5	15.0	35.0
新聞	21.9	10.0	4.0	10.2	10.0	15.6	32.5	45.0
福山市公式LINE	17.6	10.0	28.0	10.2	25.0	25.0	12.5	15.0
家族・友人・知人などから	14.8	10.0	20.0	8.2	15.0	15.6	7.5	23.3
広報テレビ	10.2	－	－	6.1	5.0	6.3	12.5	23.3
イベントへの参加時	7.8	－	－	6.1	12.5	3.1	10.0	11.7
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Facebook	1.6	－	－	2.0	－	6.3	－	1.7
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Instagram	1.2	－	4.0	2.0	－	3.1	－	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Twitter	0.8	－	4.0	－	－	3.1	－	－
無回答	0.4	－	－	－	2.5	－	－	－

地域別でみると，『北部』では「広報ふくやま」「新聞」「家族・友人・知人などから」の割合が高く，『神辺』では「広報ふくやま」「広報テレビ」の割合が高くなっています。

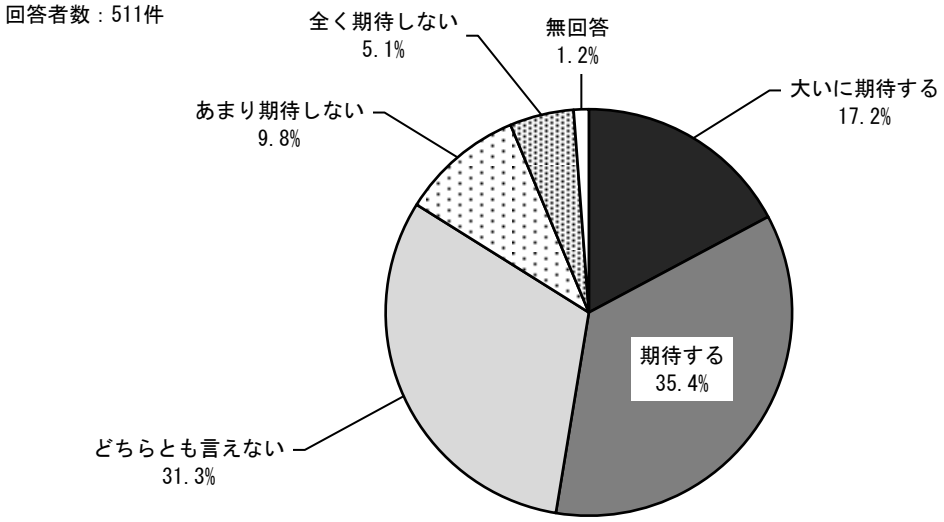
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	256	137	19	9	27	39	16	8	1
広報ふくやま	64.8	62.8	52.6	66.7	77.8	66.7	87.5	25.0	100.0
懸垂幕やのぼり旗	38.7	43.8	36.8	44.4	22.2	28.2	31.3	62.5	100.0
福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ	25.0	26.3	21.1	22.2	22.2	33.3	6.3	12.5	100.0
新聞	21.9	22.6	15.8	22.2	33.3	17.9	18.8	12.5	－
福山市公式LINE	17.6	21.2	5.3	11.1	11.1	20.5	6.3	12.5	100.0
家族・友人・知人などから	14.8	13.9	15.8	11.1	25.9	10.3	18.8	12.5	－
広報テレビ	10.2	8.0	10.5	11.1	7.4	15.4	25.0	－	－
イベントへの参加時	7.8	5.8	10.5	－	3.7	15.4	6.3	25.0	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Facebook	1.6	0.7	－	－	3.7	5.1	－	－	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Instagram	1.2	0.7	10.5	－	－	－	－	－	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Twitter	0.8	－	5.3	－	－	－	－	－	100.0
無回答	0.4	－	－	－	－	2.6	－	－	－

職業等別でみると，『正規雇用労働者』では「懸垂幕やのぼり旗」の割合が高く，『自営業』では「広報ふくやま」の割合が高く，『主夫・主婦』では「新聞」「家族・友人・知人などから」の割合が高く，『学生』では「懸垂幕やのぼり旗」「福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ」「福山市公式 LINE」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	256	80	33	23	46	18	56
広報ふくやま	64.8	52.5	72.7	82.6	65.2	22.2	83.9
懸垂幕やのぼり旗	38.7	48.8	36.4	26.1	39.1	55.6	25.0
福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ	25.0	20.0	15.2	34.8	23.9	38.9	30.4
新聞	21.9	15.0	12.1	17.4	34.8	5.6	33.9
福山市公式LINE	17.6	13.8	24.2	21.7	17.4	27.8	14.3
家族・友人・知人などから	14.8	12.5	12.1	13.0	28.3	16.7	8.9
広報テレビ	10.2	7.5	15.2	4.3	15.2	－	12.5
イベントへの参加時	7.8	5.0	15.2	4.3	10.9	－	8.9
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Facebook	1.6	1.3	3.0	8.7	－	－	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Instagram	1.2	1.3	3.0	－	2.2	－	－
第20回世界バラ会議福山大会2025公式Twitter	0.8	1.3	－	－	－	5.6	－
無回答	0.4	－	－	4.3	－	－	－

問３　世界バラ会議福山大会に対する期待度について，次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

「期待する」が 35.4%で最も高くなっています。次いで「どちらとも言えない」が 31.3%，「大いに期待する」が 17.2%で続いています。期待する層（「大いに期待する」+「期待する」）は半数以上となっています。



性別でみると，『男性』では「大いに期待する」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
大いに期待する	17.2	22.2	13.0	－	11.2	20.1	13.6
期待する	35.4	31.8	38.3	66.7	31.3	37.5	31.8
どちらとも言えない	31.3	28.9	33.5	33.3	38.1	26.7	45.5
あまり期待しない	9.8	9.2	10.4	－	14.2	9.0	2.3
全く期待しない	5.1	6.7	3.7	－	5.2	5.1	4.5
無回答	1.2	1.3	1.1	－	－	1.5	2.3

年齢別でみると，『10 歳代』では「どちらとも言えない」の割合が高く，『70歳以上』では「大いに期待する」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
大いに期待する	17.2	10.7	17.2	6.6	13.1	15.7	19.2	32.3
期待する	35.4	25.0	29.7	38.5	33.3	35.7	37.2	39.6
どちらとも言えない	31.3	57.1	35.9	38.5	32.1	34.3	25.6	15.6
あまり期待しない	9.8	－	14.1	8.8	16.7	7.1	7.7	8.3
全く期待しない	5.1	7.1	3.1	7.7	4.8	7.1	7.7	－
無回答	1.2	－	－	－	－	－	2.6	4.2

地域別でみると，『南部』では「期待する」の割合が高く，『松永』『市内（小学校区不明）』では「どちらとも言えない」の割合が高く，『東部』では「大いに期待する」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
大いに期待する	17.2	17.7	3.3	10.7	13.5	27.3	22.5	12.9	－
期待する	35.4	36.7	50.0	35.7	37.8	29.9	30.0	25.8	40.0
どちらとも言えない	31.3	29.6	30.0	50.0	29.7	24.7	32.5	48.4	20.0
あまり期待しない	9.8	10.6	10.0	－	9.5	9.1	12.5	6.5	40.0
全く期待しない	5.1	4.4	6.7	3.6	5.4	7.8	2.5	6.5	－
無回答	1.2	0.9	－	－	4.1	1.3	－	－	－

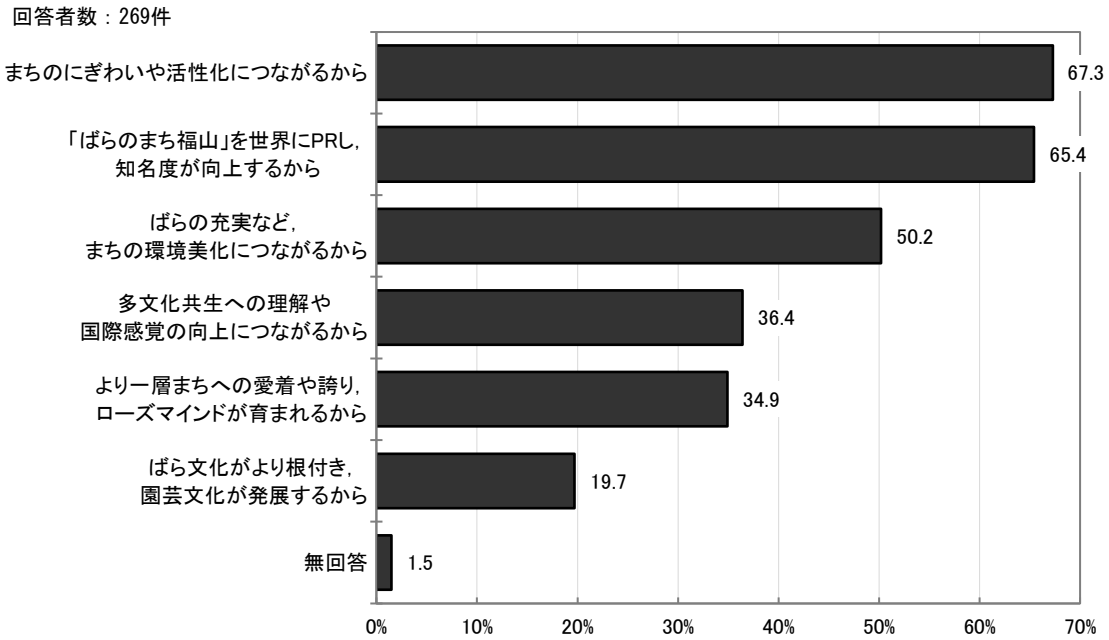
職業等別でみると，『自営業』では「あまり期待しない」の割合が高く，『学生』では「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
大いに期待する	17.2	14.9	11.1	22.9	24.2	12.8	18.7
期待する	35.4	31.5	39.7	28.6	39.6	34.0	38.3
どちらとも言えない	31.3	35.7	33.3	22.9	26.4	44.7	24.3
あまり期待しない	9.8	11.3	12.7	20.0	5.5	4.3	8.4
全く期待しない	5.1	6.5	3.2	5.7	－	4.3	8.4
無回答	1.2	－	－	－	4.4	－	1.9

【問３で世界バラ会議福山大会に「大いに期待する」又は「期待する」】と答えた方にお聞きします。】

問４　期待する理由について，次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「まちのにぎわいや活性化につながるから」が 67.3%で最も高くなっています。次いで「「ばらのまち福山」を世界に PR し，知名度が向上するから」が 65.4%，「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」が 50.2%で続いています。



性別でみると，『男性』では「「ばらのまち福山」を世界に PR し，知名度が向上するから」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「まちのにぎわいや活性化につながるから」「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」「ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから」の割合が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	269	129	138	2	57	192	20
まちのにぎわいや活性化につながるから	67.3	69.8	65.2	50.0	59.6	69.8	65.0
「ばらのまち福山」を世界にPRし，知名度が向上するから	65.4	73.6	58.0	50.0	61.4	66.1	70.0
ばらの充実など，まちの環境美化につながるから	50.2	51.2	49.3	50.0	40.4	52.1	60.0
多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから	36.4	38.8	34.8	－	31.6	35.9	55.0
より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから	34.9	34.9	34.8	50.0	36.8	33.3	45.0
ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから	19.7	22.5	15.9	100.0	14.0	22.4	10.0
無回答	1.5	1.6	1.4	－	1.8	1.0	5.0

年齢別でみると，『10 歳代』では「「ばらのまち福山」を世界に PR し，知名度が向上するから」「多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから」「より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから」「ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから」の割合が高く，『70 歳以上』では「まちのにぎわいや活性化につながるから」「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」「より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	269	10	30	41	39	36	44	69
まちのにぎわいや活性化につながるから	67.3	60.0	66.7	61.0	59.0	61.1	63.6	82.6
「ばらのまち福山」を世界にPRし，知名度が向上するから	65.4	90.0	63.3	63.4	66.7	61.1	59.1	69.6
ばらの充実など，まちの環境美化につながるから	50.2	60.0	40.0	39.0	41.0	52.8	54.5	60.9
多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから	36.4	50.0	43.3	34.1	33.3	30.6	29.5	42.0
より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから	34.9	50.0	16.7	34.1	35.9	30.6	27.3	47.8
ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから	19.7	40.0	16.7	12.2	12.8	19.4	20.5	26.1
無回答	1.5	－	3.3	2.4	－	－	2.3	1.4

地域別でみると，『南部』では「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」「ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから」の割合が高く，『松永』では「多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから」の割合が高く，『神辺』では「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」「より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから」「ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから」の割合が高く，『市内（小学校区不明）』では「多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	269	123	16	13	38	44	21	12	2
まちのにぎわいや活性化につながるから	67.3	69.1	37.5	61.5	65.8	75.0	71.4	66.7	50.0
「ばらのまち福山」を世界にPRし，知名度が向上するから	65.4	65.0	62.5	61.5	63.2	72.7	61.9	58.3	100.0
ばらの充実など，まちの環境美化につながるから	50.2	46.3	87.5	46.2	39.5	45.5	71.4	50.0	100.0
多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから	36.4	32.5	31.3	61.5	31.6	43.2	33.3	50.0	50.0
より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから	34.9	31.7	25.0	15.4	44.7	43.2	47.6	25.0	－
ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから	19.7	17.1	31.3	7.7	15.8	20.5	38.1	8.3	100.0
無回答	1.5	0.8	6.3	7.7	－	－	－	8.3	－

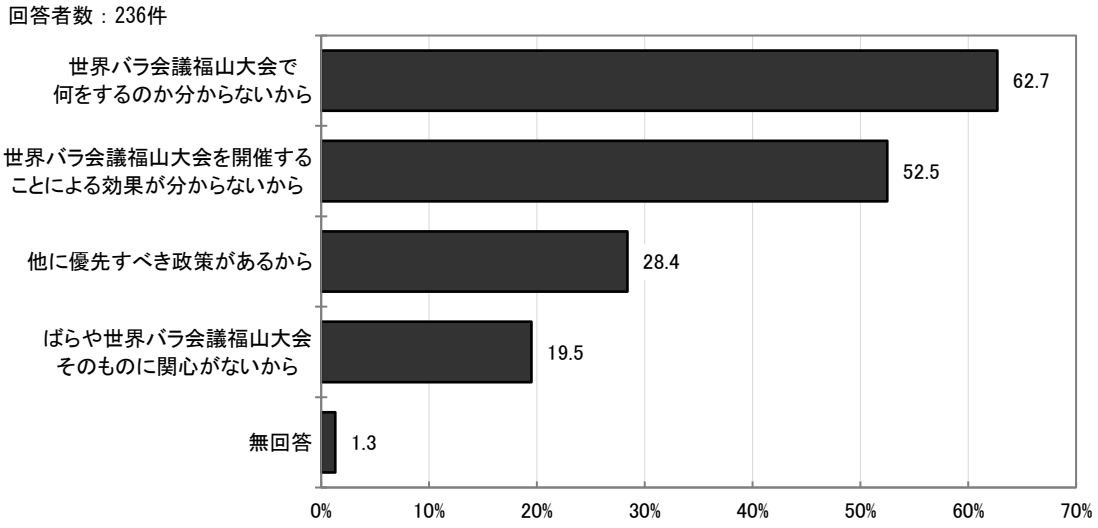
職業等別でみると，『自営業』では「「ばらのまち福山」を世界に PR し，知名度が向上するから」「ばらの充実など，まちの環境美化につながるから」の割合が高く，『主夫・主婦』では「まちのにぎわいや活性化につながるから」の割合が高く，『学生』では「「ばらのまち福山」を世界に PR し，知名度が向上するから」「多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	269	78	32	18	58	22	61
まちのにぎわいや活性化につながるから	67.3	62.8	*53.1*	66.7	*77.6*	63.6	72.1
「ばらのまち福山」を世界にPRし，知名度が向上するから	65.4	64.1	65.6	*77.8*	*53.4*	*81.8*	68.9
ばらの充実など，まちの環境美化につながるから	50.2	41.0	46.9	*61.1*	53.4	50.0	57.4
多文化共生への理解や国際感覚の向上につながるから	36.4	37.2	*25.0*	*22.2*	34.5	*54.5*	41.0
より一層まちへの愛着や誇り，ローズマインドが育まれるから	34.9	30.8	34.4	44.4	32.8	31.8	41.0
ばら文化がより根付き，園芸文化が発展するから	19.7	14.1	15.6	27.8	27.6	27.3	16.4
無回答	1.5	2.6	–	–	1.7	–	1.6

【問３で世界バラ会議福山大会に「どちらとも言えない」「あまり期待しない」「全く期待しない」】と答えた方にお聞きします。】

問５　その理由について，次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。
【複数回答】

「世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから」が 62.7%で最も高くなっています。次いで「世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」が 52.5%，「他に優先すべき政策があるから」が 28.4%で続いています。



性別でみると，『男性』では「世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，大きな差はみられません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	236	107	128	1	77	136	23
世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから	62.7	61.7	63.3	*100.0*	62.3	61.8	*69.6*
世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから	52.5	*57.9*	48.4	－	48.1	55.9	47.8
他に優先すべき政策があるから	28.4	32.7	25.0	－	31.2	27.2	26.1
ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから	19.5	23.4	16.4	－	23.4	18.4	*13.0*
無回答	1.3	0.9	1.6	－	1.3	1.5	－

年齢別でみると,『10 歳代』では「世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」の割合が低く,『20 歳代』では「他に優先すべき政策があるから」の割合が低く,『50 歳代』では「ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから」の割合が低く,『70 歳以上』では「世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから」「ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから」の割合が低くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	236	18	34	50	45	34	32	23
世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから	62.7	61.1	67.6	68.0	64.4	61.8	56.3	52.2
世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから	52.5	38.9	44.1	54.0	53.3	52.9	59.4	60.9
他に優先すべき政策があるから	28.4	27.8	17.6	26.0	37.8	26.5	28.1	34.8
ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから	19.5	27.8	26.5	22.0	22.2	8.8	21.9	4.3
無回答	1.3	–	2.9	2.0	–	–	–	4.3

地域別でみると,『南部』では「世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから」「世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」の割合が高く,『北部』では「世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから」の割合が高く,『東部』では「世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」の割合が高くなっています。

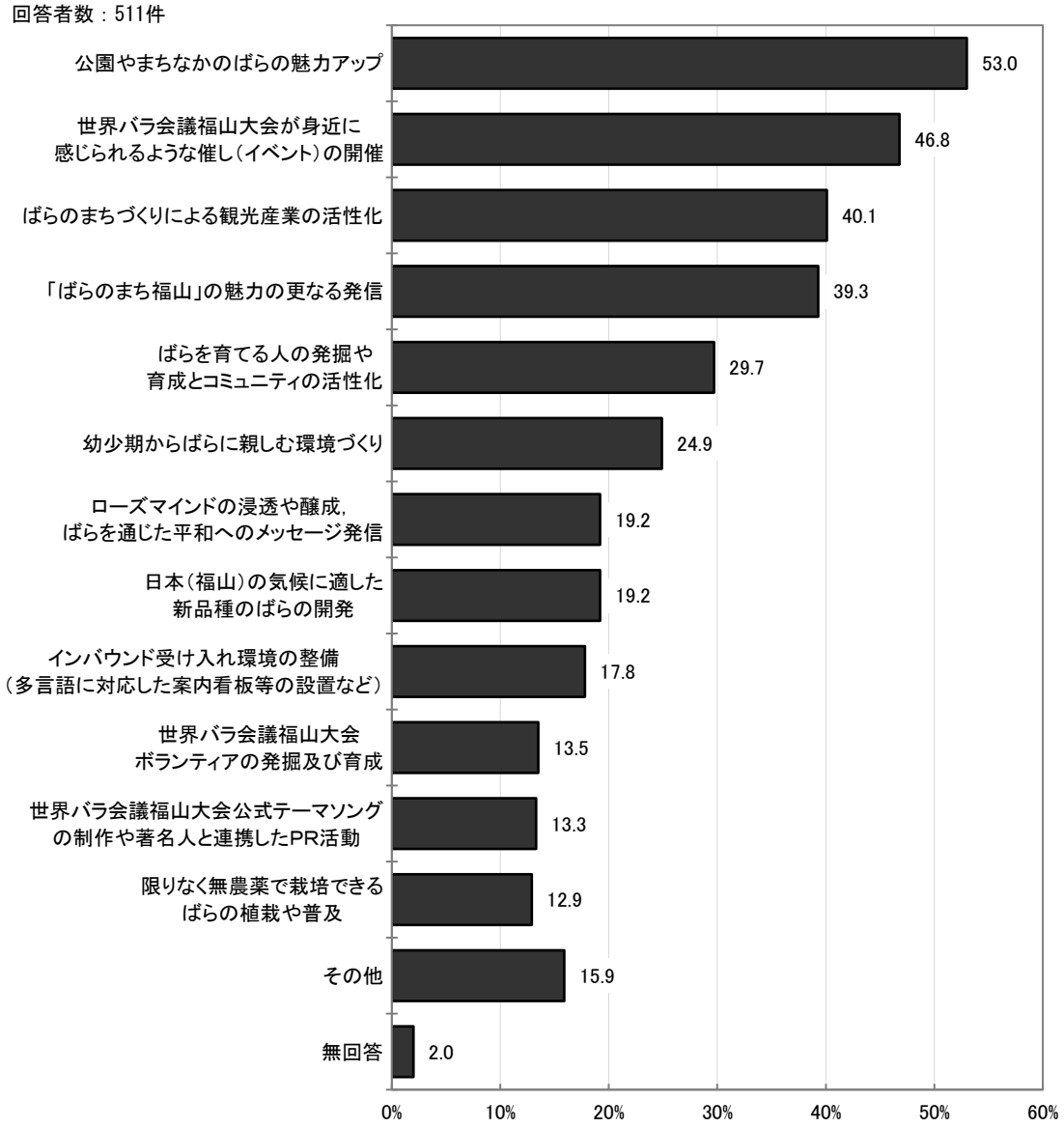
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	236	101	14	15	33	32	19	19	3
世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから	62.7	64.4	78.6	53.3	75.8	43.8	52.6	63.2	100.0
世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから	52.5	48.5	64.3	53.3	48.5	62.5	52.6	52.6	66.7
他に優先すべき政策があるから	28.4	28.7	28.6	20.0	24.2	34.4	31.6	26.3	33.3
ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから	19.5	16.8	14.3	13.3	18.2	25.0	26.3	21.1	66.7
無回答	1.3	1.0	7.1	–	3.0	–	–	–	–

職業等別でみると,『非正規雇用労働者』では「世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから」の割合が高く,『自営業』では「他に優先すべき政策があるから」の割合が高く,『学生』では「ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	236	90	31	17	29	25	44
世界バラ会議福山大会で何をするのか分からないから	62.7	61.1	74.2	41.2	65.5	72.0	59.1
世界バラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから	52.5	56.7	41.9	52.9	51.7	36.0	61.4
他に優先すべき政策があるから	28.4	27.8	16.1	52.9	24.1	28.0	31.8
ばらや世界バラ会議福山大会そのものに関心がないから	19.5	20.0	16.1	17.6	6.9	36.0	20.5
無回答	1.3	1.1	3.2	–	3.4	–	–

問６　世界バラ会議福山大会の成功に向け，どのようなことに取り組んでいく必要があると思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「〇」を記入してください。【複数回答】

「公園やまちなかのばらの魅力アップ」が 53.0%で最も高くなっています。次いで「世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し（イベント）の開催」が 46.8%，「ばらのまちづくりによる観光産業の活性化」が 40.1%で続いています。



【その他回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
「ばらのまち」と言うなら，まずは誰が見ても「ばらのまちだ」と感じるまちづくりが先です。	20 歳代	中部
このアンケートで「世界バラ会議」を始めて知ったので，もっと市民に対してアピールしても良いと思う。	30 歳代	北部
福山らしいものや人とのコラボ（例：福山城，コウモリ，備後絣，下駄，デニム，くわい，声優の福山潤さんなど）。	30 歳代	中部
地域や学区ごとにばら花壇マップを作成して近所でもばらが見られる所があると遠方から訪れた知人などに気軽に紹介したりできる。	30 歳代	中部
ばらに関して市内中心の公園や施設に偏り過ぎている。福山市とは，駅周辺の事だけではない。	40 歳代	中部
この大会が何につながるのかをはっきりと示すこと。	40 歳代	中部
世界バラ会議開催後の将来像が理解できていない。	60 歳代	北部
福山駅構内からメイン会場まで，ばらで埋め尽くす。	60 歳代	北部
ばら公園⇔福山駅の公共交通のアクセスの便利さを増加させる。市民が平素参加できるイベントの増加を図る。	70 歳以上	南部
国内外との交流にインターネットを活用。もっとデジタル対応でオンライン交流を増やすこと。	70 歳以上	東部

性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「幼少期からばらに親しむ環境づくり」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
公園やまちなかのばらの魅力アップ	53.0	49.0	56.5	66.7	41.8	57.1	56.8
世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し（イベント）の開催	46.8	42.3	50.2	100.0	47.0	48.0	36.4
ばらのまちづくりによる観光産業の活性化	40.1	38.5	41.3	66.7	35.1	42.6	36.4
「ばらのまち福山」の魅力の更なる発信	39.3	39.7	39.0	33.3	34.3	41.1	40.9
ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化	29.7	31.0	28.6	33.3	27.6	30.6	29.5
幼少期からばらに親しむ環境づくり	24.9	22.2	27.1	33.3	31.3	21.6	29.5
ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信	19.2	19.7	19.0	－	12.7	21.0	25.0
日本（福山）の気候に適した新品種のばらの開発	19.2	20.5	18.2	－	17.2	18.9	27.3
インバウンド受け入れ環境の整備（多言語に対応した案内看板等の設置など）	17.8	18.0	17.8	－	19.4	15.9	27.3
世界バラ会議福山大会ボランティアの発掘及び育成	13.5	13.0	14.1	－	11.2	14.1	15.9
世界バラ会議福山大会公式テーマソングの制作や著名人と連携したPR活動	13.3	13.0	13.4	33.3	9.7	15.0	11.4
限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及	12.9	13.4	12.3	33.3	9.7	13.8	15.9
その他	15.9	20.1	12.3	－	14.9	16.5	13.6
無回答	2.0	3.3	0.7	－	－	2.7	2.3

年齢別でみると，『10 歳代』では「公園やまちなかのばらの魅力アップ」「ばらのまちづくりによる観光産業の活性化」の割合が高く，『70 歳以上』では「公園やまちなかのばらの魅力アップ」「ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化」「ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信」「世界バラ会議福山大会ボランティアの発掘及び育成」「限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
公園やまちなかのばらの魅力アップ	53.0	67.9	53.1	50.5	40.5	45.7	53.8	66.7
世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し（イベント）の開催	46.8	39.3	46.9	46.2	47.6	42.9	50.0	49.0
ばらのまちづくりによる観光産業の活性化	40.1	53.6	40.6	41.8	36.9	38.6	34.6	42.7
「ばらのまち福山」の魅力の更なる発信	39.3	39.3	35.9	37.4	39.3	30.0	43.6	46.9
ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化	29.7	25.0	25.0	28.6	22.6	24.3	30.8	44.8
幼少期からばらに親しむ環境づくり	24.9	28.6	23.4	24.2	17.9	30.0	17.9	33.3
ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信	19.2	28.6	12.5	14.3	11.9	17.1	24.4	29.2
日本（福山）の気候に適した新品種のばらの開発	19.2	25.0	18.8	16.5	14.3	20.0	19.2	24.0
インバウンド受け入れ環境の整備（多言語に対応した案内看板等の設置など）	17.8	10.7	17.2	17.6	22.6	11.4	16.7	21.9
世界バラ会議福山大会ボランティアの発掘及び育成	13.5	10.7	4.7	9.9	11.9	20.0	9.0	24.0
世界バラ会議福山大会公式テーマソングの制作や著名人と連携したPR活動	13.3	10.7	9.4	13.2	8.3	14.3	14.1	19.8
限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及	12.9	10.7	10.9	7.7	6.0	10.0	16.7	25.0
その他	15.9	7.1	6.3	12.1	22.6	24.3	12.8	18.8
無回答	2.0	－	－	－	－	2.9	3.8	5.2

地域別でみると，『松永』では「「ばらのまち福山」の魅力の更なる発信」の割合が高く，『神辺』では「ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信」「日本（福山）の気候に適した新品種のばらの開発」「限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及」の割合が高く，『市内（小学校区不明）』では「ばらのまちづくりによる観光産業の活性化」の割合が高くなっています。

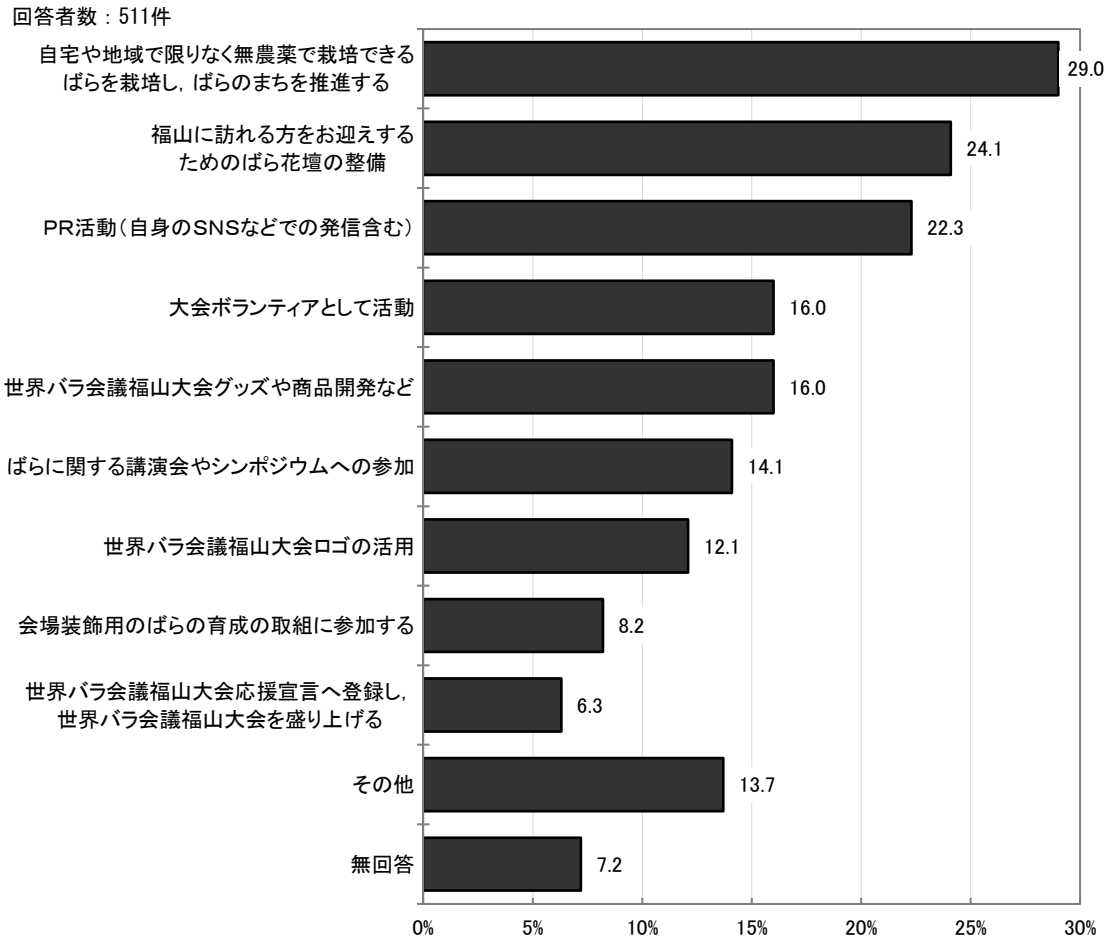
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
公園やまちなかのばらの魅力アップ	53.0	53.5	50.0	53.6	55.4	49.4	52.5	54.8	60.0
世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し（イベント）の開催	46.8	48.2	46.7	53.6	40.5	48.1	47.5	41.9	40.0
ばらのまちづくりによる観光産業の活性化	40.1	38.5	30.0	39.3	33.8	41.6	50.0	58.1	60.0
「ばらのまち福山」の魅力の更なる発信	39.3	40.3	40.0	50.0	28.4	37.7	37.5	48.4	80.0
ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化	29.7	27.9	36.7	32.1	25.7	37.7	27.5	32.3	－
幼少期からばらに親しむ環境づくり	24.9	23.9	26.7	32.1	25.7	24.7	27.5	22.6	－
ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信	19.2	18.1	10.0	17.9	17.6	22.1	30.0	19.4	20.0
日本（福山）の気候に適した新品種のばらの開発	19.2	15.9	23.3	17.9	17.6	19.5	30.0	22.6	60.0
インバウンド受け入れ環境の整備（多言語に対応した案内看板等の設置など）	17.8	19.5	10.0	10.7	10.8	26.0	15.0	19.4	20.0
世界バラ会議福山大会ボランティアの発掘及び育成	13.5	15.0	10.0	14.3	13.5	16.9	2.5	9.7	20.0
世界バラ会議福山大会公式テーマソングの制作や著名人と連携したPR活動	13.3	12.8	16.7	14.3	10.8	16.9	7.5	19.4	－
限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及	12.9	8.4	20.0	17.9	16.2	14.3	25.0	6.5	20.0
その他	15.9	18.1	20.0	14.3	13.5	11.7	12.5	16.1	20.0
無回答	2.0	1.8	3.3	－	2.7	3.9	－	－	－

職業等別でみると，『非正規雇用労働者』では「幼少期からばらに親しむ環境づくり」の割合が高く，『自営業』『主夫・主婦』では「ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化」の割合が高く，『学生』では「公園やまちなかのばらの魅力アップ」「ばらのまちづくりによる観光産業の活性化」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
公園やまちなかのばらの魅力アップ	53.0	44.6	47.6	57.1	58.2	*63.8*	58.9
世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し（イベント）の開催	46.8	48.2	47.6	40.0	51.6	40.4	44.9
ばらのまちづくりによる観光産業の活性化	40.1	42.3	33.3	45.7	36.3	*51.1*	37.4
「ばらのまち福山」の魅力の更なる発信	39.3	38.7	30.2	40.0	35.2	46.8	45.8
ばらを育てる人の発掘や育成とコミュニティの活性化	29.7	*19.6*	25.4	*40.0*	*42.9*	29.8	33.6
幼少期からばらに親しむ環境づくり	24.9	17.9	*34.9*	*14.3*	30.8	23.4	29.0
ローズマインドの浸透や醸成，ばらを通じた平和へのメッセージ発信	19.2	16.1	14.3	20.0	20.9	25.5	22.4
日本（福山）の気候に適した新品種のばらの開発	19.2	14.3	12.7	22.9	22.0	23.4	25.2
インバウンド受け入れ環境の整備（多言語に対応した案内看板等の設置など）	17.8	14.9	12.7	22.9	19.8	19.1	21.5
世界バラ会議福山大会ボランティアの発掘及び育成	13.5	8.9	11.1	17.1	18.7	10.6	17.8
世界バラ会議福山大会公式テーマソングの制作や著名人と連携したPR活動	13.3	11.3	7.9	8.6	20.9	10.6	15.9
限りなく無農薬で栽培できるばらの植栽や普及	12.9	5.4	7.9	17.1	19.8	10.6	21.5
その他	15.9	14.9	14.3	28.6	14.3	8.5	18.7
無回答	2.0	1.8	－	－	3.3	－	3.7

問７　世界バラ会議福山大会の開催コンセプトを,「みんなで創る」「みんなで盛り上げる」「みんなで輝く」とし，市民総参加による大会の開催をめざしています。世界バラ会議福山大会のどのような取組に参画したいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する」が 29.0%で最も高くなっています。次いで「福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備」が 24.1%,「PR活動（自身のSNSなどでの発信含む）」が 22.3%で続いています。



【その他回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
世界バラ会議の内容がわからないので何をすれば良いのかわからない。	20 歳代	松永
仕事でボランティア参加できない現状が有るので，勤め先の会社が何かしらで参加できると自身も参加しやすい。	30 歳代	南部
福山の町であたたかく出迎える。	30 歳代	中部
みんな，とはどの地域の人間を指しているのか。本当に福山市全体の人間を指しているように感じない。	40 歳代	中部
自宅や地域で栽培しやすい品種があるなら PR し，自らも購入して育ててみたい。	50 歳代	中部
町内会単位で気軽に参加できることを考えてほしい。	50 歳代	東部
市内のばらの株数は，多いと思うが，目立っていない。中心部を外れると尚更。	50 歳代	中部

開催コンセプトをもっともっと市民に理解されるような PR が必要。	60 歳代	北部
ボランティアガイドとして福山の魅力を発信する。	70 歳以上	中部
自宅のばらを増やす。	70 歳以上	南部

性別でみると,『男性』では「ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると,『はい(子育て世帯)』では「PR活動(自身のSNSなどでの発信含む)」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する	29.0	29.7	27.9	66.7	20.9	31.2	36.4
福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備	24.1	23.0	25.3	－	20.1	25.5	25.0
PR活動(自身のSNSなどでの発信含む)	22.3	21.3	23.0	33.3	27.6	21.3	13.6
大会ボランティアとして活動	16.0	15.1	17.1	－	14.2	16.2	20.5
世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など	16.0	11.7	19.7	33.3	16.4	15.0	22.7
ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加	14.1	20.1	8.6	33.3	6.0	18.3	6.8
世界バラ会議福山大会ロゴの活用	12.1	11.3	13.0	－	11.9	12.6	9.1
会場装飾用のばらの育成の取組に参加する	8.2	7.1	8.9	33.3	6.7	9.0	6.8
世界バラ会議福山大会応援宣言へ登録し，世界バラ会議福山大会を盛り上げる	6.3	7.5	5.2	－	5.2	7.2	2.3
その他	13.7	14.2	13.4	－	11.9	14.7	11.4
無回答	7.2	8.8	5.9	－	2.2	8.7	11.4

年齢別でみると,『10 歳代』では「PR活動(自身のSNSなどでの発信含む)」「世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など」の割合が高く,『70 歳以上』では「自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する」「ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する	29.0	25.0	28.1	18.7	16.7	28.6	30.8	50.0
福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備	24.1	21.4	17.2	26.4	20.2	30.0	24.4	26.0
PR活動(自身のSNSなどでの発信含む)	22.3	39.3	25.0	29.7	28.6	22.9	11.5	11.5
大会ボランティアとして活動	16.0	14.3	25.0	8.8	16.7	21.4	15.4	13.5
世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など	16.0	28.6	20.3	17.6	16.7	14.3	12.8	11.5
ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加	14.1	3.6	4.7	5.5	11.9	15.7	19.2	28.1
世界バラ会議福山大会ロゴの活用	12.1	－	18.8	12.1	11.9	14.3	14.1	8.3
会場装飾用のばらの育成の取組に参加する	8.2	14.3	7.8	9.9	8.3	7.1	7.7	6.3
世界バラ会議福山大会応援宣言へ登録し，世界バラ会議福山大会を盛り上げる	6.3	－	3.1	4.4	8.3	10.0	6.4	7.3
その他	13.7	7.1	10.9	13.2	16.7	18.6	11.5	13.5
無回答	7.2	7.1	3.1	2.2	1.2	5.7	12.8	16.7

地域別でみると，『松永』では「福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備」の割合が高く，『北部』では「自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する」の割合が高く，『市内（小学校区不明）』では「福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備」「世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する	29.0	27.0	36.7	21.4	39.2	28.6	32.5	12.9	40.0
福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備	24.1	22.6	20.0	39.3	17.6	26.0	22.5	38.7	20.0
PR活動（自身のSNSなどでの発信含む）	22.3	26.5	26.7	21.4	10.8	16.9	25.0	25.8	20.0
大会ボランティアとして活動	16.0	17.3	16.7	14.3	9.5	24.7	7.5	12.9	20.0
世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など	16.0	13.3	23.3	7.1	17.6	14.3	17.5	38.7	－
ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加	14.1	13.3	20.0	14.3	12.2	19.5	12.5	6.5	20.0
世界バラ会議福山大会ロゴの活用	12.1	13.3	10.0	14.3	9.5	13.0	15.0	6.5	－
会場装飾用のばらの育成の取組に参加する	8.2	7.5	13.3	14.3	8.1	6.5	7.5	9.7	－
世界バラ会議福山大会応援宣言へ登録し，世界バラ会議福山大会を盛り上げる	6.3	4.4	10.0	－	4.1	13.0	2.5	12.9	20.0
その他	13.7	15.9	16.7	7.1	10.8	10.4	15.0	12.9	20.0
無回答	7.2	4.9	3.3	3.6	9.5	13.0	17.5	－	－

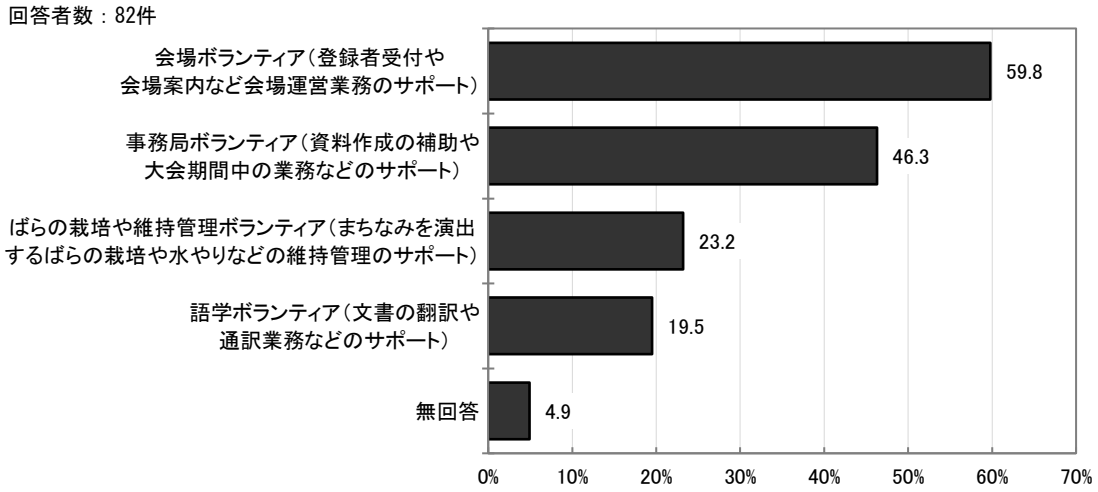
職業等別でみると，『正規雇用労働者』では「自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する」の割合が低く，『自営業』では「福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備」の割合が低くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し，ばらのまちを推進する	29.0	19.0	23.8	31.4	37.4	31.9	38.3
福山に訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備	24.1	21.4	33.3	2.9	33.0	21.3	23.4
PR活動（自身のSNSなどでの発信含む）	22.3	25.6	30.2	25.7	15.4	29.8	14.0
大会ボランティアとして活動	16.0	14.9	12.7	25.7	17.6	21.3	13.1
世界バラ会議福山大会グッズや商品開発など	16.0	13.7	14.3	20.0	20.9	23.4	12.1
ばらに関する講演会やシンポジウムへの参加	14.1	7.7	12.7	22.9	13.2	8.5	25.2
世界バラ会議福山大会ロゴの活用	12.1	14.3	14.3	2.9	14.3	10.6	9.3
会場装飾用のばらの育成の取組に参加する	8.2	8.9	7.9	5.7	6.6	10.6	8.4
世界バラ会議福山大会応援宣言へ登録し，世界バラ会議福山大会を盛り上げる	6.3	4.2	12.7	14.3	5.5	－	6.5
その他	13.7	14.9	12.7	20.0	9.9	8.5	15.9
無回答	7.2	5.4	4.8	11.4	8.8	4.3	10.3

【問７で「大会ボランティアとして活動」と答えた方にお聞きします。】

問８　どのようなボランティア活動をしたいと思いますか，次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）」が 59.8％で最も高くなっています。次いで「事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）」が 46.3％，「ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）」が 23.2％で続いています。



性別でみると，『女性』では「会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）」「語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）」「語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	82	36	46	－	19	54	9
会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）	59.8	52.8	65.2	－	68.4	57.4	55.6
事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）	46.3	41.7	50.0	－	42.1	44.4	66.7
ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）	23.2	19.4	26.1	－	15.8	25.9	22.2
語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）	19.5	11.1	26.1	－	26.3	16.7	22.2
無回答	4.9	5.6	4.3	－	5.3	3.7	11.1

年齢別でみると，『20 歳代』『50 歳代』では「事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）」の割合が高く，『70 歳以上』では「ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	82	4	16	8	14	15	12	13
会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）	59.8	100.0	56.3	62.5	64.3	66.7	50.0	46.2
事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）	46.3	25.0	56.3	50.0	28.6	73.3	50.0	23.1
ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）	23.2	50.0	12.5	25.0	14.3	26.7	16.7	38.5
語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）	19.5	－	18.8	37.5	28.6	20.0	8.3	15.4
無回答	4.9	－	12.5	12.5	－	－	－	7.7

地域別でみると，『東部』では「事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）」「語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	82	39	5	4	7	19	3	4	1
会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）	59.8	69.2	40.0	50.0	28.6	68.4	－	75.0	－
事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）	46.3	35.9	20.0	25.0	71.4	57.9	100.0	75.0	－
ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）	23.2	23.1	20.0	25.0	14.3	31.6	－	25.0	－
語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）	19.5	15.4	40.0	－	14.3	31.6	－	－	100.0
無回答	4.9	5.1	20.0	25.0	－	－	－	－	－

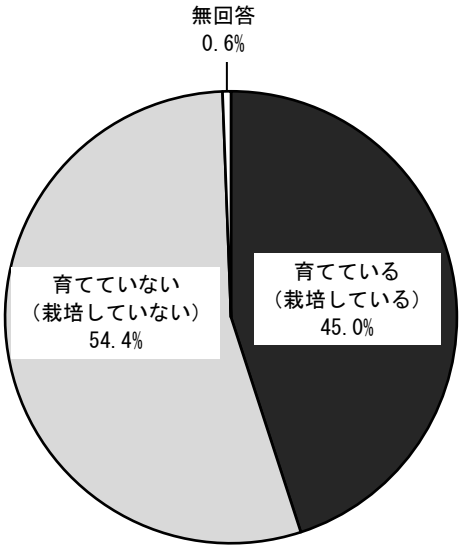
職業等別でみると，『主夫・主婦』では「会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）」「事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）」の割合が高く，『学生』では「会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）」「語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	82	25	8	9	16	10	14
会場ボランティア（登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート）	59.8	68.0	50.0	44.4	75.0	80.0	28.6
事務局ボランティア（資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート）	46.3	48.0	37.5	44.4	56.3	40.0	42.9
ばらの栽培や維持管理ボランティア（まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート）	23.2	12.0	12.5	22.2	25.0	30.0	42.9
語学ボランティア（文書の翻訳や通訳業務などのサポート）	19.5	24.0	12.5	22.2	12.5	30.0	14.3
無回答	4.9	4.0	－	－	6.3	10.0	7.1

問９　家庭や地域などでばらを育てていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

「育てている（栽培している）」が 45.0%，「育てていない（栽培していない）」が 54.4%となっています。

回答者数：511件



性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「育てていない（栽培していない）」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
育てている（栽培している）	45.0	45.2	45.0	33.3	39.6	46.5	50.0
育てていない（栽培していない）	54.4	54.0	54.6	66.7	60.4	52.6	50.0
無回答	0.6	0.8	0.4	－	－	0.9	－

年齢別でみると，『20 歳代』『40 歳代』では「育てていない（栽培していない）」の割合が高く，『60 歳代』『70 歳以上』では「育てている（栽培している）」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
育てている（栽培している）	45.0	39.3	21.9	39.6	34.5	47.1	56.4	65.6
育てていない（栽培していない）	54.4	60.7	78.1	60.4	65.5	52.9	43.6	31.3
無回答	0.6	－	－	－	－	－	－	3.1

地域別でみると，『南部』では「育てている（栽培している）」の割合が高く，『市内（小学校区不明）』では「育てていない（栽培していない）」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
育てている（栽培している）	45.0	46.5	56.7	42.9	50.0	45.5	45.0	12.9	40.0
育てていない（栽培していない）	54.4	53.1	43.3	57.1	48.6	53.2	55.0	87.1	60.0
無回答	0.6	0.4	－	－	1.4	1.3	－	－	－

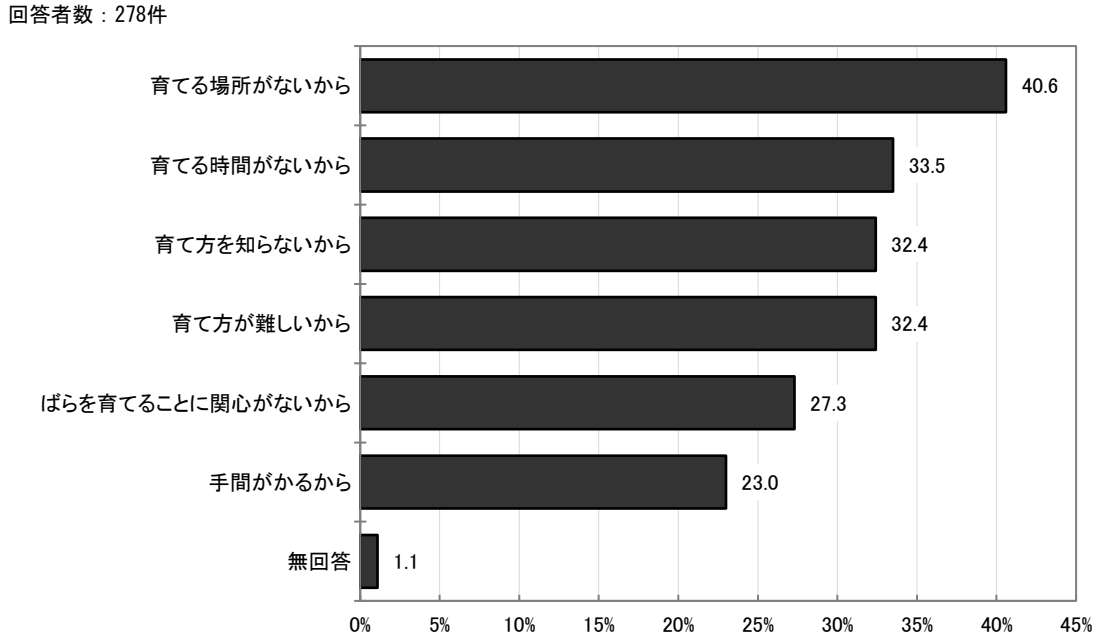
職業等別でみると,『正規雇用労働者』『学生』では「育てていない(栽培していない)」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
育てている(栽培している)	45.0	32.7	49.2	51.4	54.9	29.8	57.9
育てていない(栽培していない)	54.4	67.3	50.8	48.6	42.9	70.2	41.1
無回答	0.6	−	−	−	2.2	−	0.9

【問９でばらを「育てていない」と答えた方にお聞きします。】

問 10　育てていない理由について，次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「育てる場所がないから」が 40.6%で最も高くなっています。次いで「育てる時間がないから」が 33.5%，「育て方を知らないから」「育て方が難しいから」が 32.4%で続いています。



性別でみると，『男性』では「ばらを育てることに関心がないから」の割合が高く，『女性』では「育て方が難しいから」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「育てる時間がないから」「育て方が難しいから」の割合が高く，『いいえ（子育て世帯以外）』では「育てる場所がないから」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	278	129	147	2	81	175	22
育てる場所がないから	40.6	44.2	38.1	－	27.2	47.4	36.4
育てる時間がないから	33.5	33.3	34.0	－	40.7	30.3	31.8
育て方を知らないから	32.4	31.0	33.3	50.0	29.6	34.9	22.7
育て方が難しいから	32.4	25.6	38.8	－	43.2	29.7	13.6
ばらを育てることに関心がないから	27.3	34.1	21.1	50.0	29.6	24.6	40.9
手間がかるから	23.0	25.6	21.1	－	23.5	21.7	31.8
無回答	1.1	0.8	1.4	－	－	1.7	－

年齢別でみると，『70 歳以上』では「育てる場所がないから」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	278	17	50	55	55	37	34	30
育てる場所がないから	40.6	35.3	50.0	34.5	34.5	32.4	47.1	53.3
育てる時間がないから	33.5	35.3	42.0	41.8	34.5	27.0	26.5	16.7
育て方を知らないから	32.4	11.8	36.0	40.0	29.1	21.6	35.3	40.0
育て方が難しいから	32.4	11.8	26.0	41.8	34.5	29.7	32.4	36.7
ばらを育てることに関心がないから	27.3	17.6	24.0	34.5	32.7	32.4	14.7	23.3
手間がかるから	23.0	11.8	26.0	27.3	20.0	24.3	20.6	23.3
無回答	1.1	5.9	－	－	1.8	－	－	3.3

地域別でみると,『松永』では「育て方を知らないから」「育て方が難しいから」の割合が高く,『東部』では「ばらを育てることに関心がないから」の割合が高く,『市内(小学校区不明)』では「育てる場所がないから」「育てる時間がないから」の割合が高くなっています。

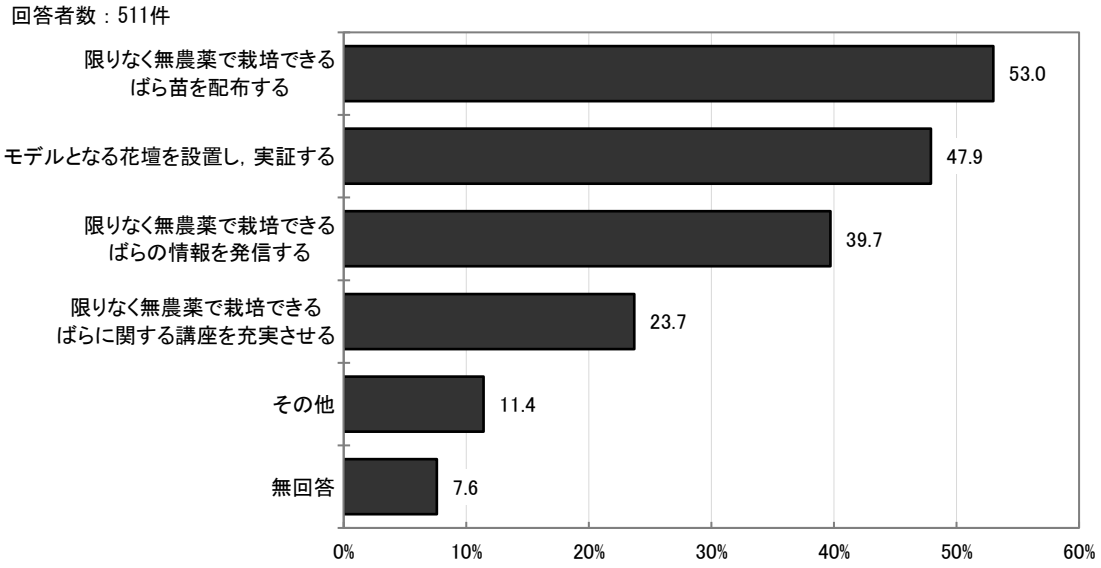
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	278	120	13	16	36	41	22	27	3
育てる場所がないから	40.6	46.7	30.8	37.5	33.3	34.1	13.6	63.0	33.3
育てる時間がないから	33.5	28.3	23.1	37.5	33.3	39.0	27.3	51.9	66.7
育て方を知らないから	32.4	33.3	15.4	43.8	33.3	29.3	31.8	33.3	33.3
育て方が難しいから	32.4	32.5	30.8	43.8	38.9	24.4	40.9	25.9	−
ばらを育てることに関心がないから	27.3	22.5	30.8	25.0	27.8	41.5	27.3	25.9	33.3
手間がかるから	23.0	22.5	30.8	31.3	22.2	19.5	18.2	25.9	33.3
無回答	1.1	1.7	−	−	−	−	4.5	−	−

職業等別でみると,『主夫・主婦』では「育て方を知らないから」の割合が高く,『学生』では「育てる時間がないから」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	278	113	32	17	39	33	44
育てる場所がないから	40.6	39.8	40.6	29.4	46.2	48.5	36.4
育てる時間がないから	33.5	38.1	40.6	11.8	25.6	45.5	22.7
育て方を知らないから	32.4	27.4	28.1	29.4	46.2	27.3	40.9
育て方が難しいから	32.4	36.3	37.5	29.4	33.3	12.1	34.1
ばらを育てることに関心がないから	27.3	35.4	28.1	35.3	7.7	21.2	25.0
手間がかるから	23.0	23.9	21.9	17.6	25.6	27.3	18.2
無回答	1.1	−	−	5.9	−	3.0	2.3

問 11　本市では，大会を契機にSDGsの理念に合致する持続可能なばらのまちづくりを推進するため，市内の公共空間におけるばらを誰でも栽培でき，限りなく無農薬で栽培できるばらへと転換し，安心，安全で市民の皆さんと共に彩り豊かな街の新しい景観づくりに取り組んでいきます。限りなく無農薬で栽培できるばらを普及させるためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する」が 53.0%で最も高くなっています。次いで「モデルとなる花壇を設置し，実証する」が 47.9%，「限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する」が 39.7%で続いています。



【その他回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
ばらを育てる余裕が持てるくらいの時間的・経済的余裕が，まず必要ではないか。	30 歳代	中部
無農薬で栽培出来るばらの開発をしている事を初めて知りました。現段階でどこまで開発が進んでいるのかを知りたい。	30 歳代	中部
入園や入学，家を建てた時等のタイミングで苗を配布する。	30 歳代	中部
市のホームページに専用サイトを作り，育て方の詳細を掲載して欲しい。	40 歳代	中部
小学校や中学校で生徒に配布し，同時に学校で（or どこかの施設に通い）生徒自身で育てる（育て方を身に付ける）。	40 歳代	中部
栽培したばらを食べるイベントを開催し，無農薬で安全であることをアピールする。	50 歳代	南部
地域にもばらの花壇があるが，高齢の方が手入れをしていて，この先継続して行うことができるのか？	50 歳代	北部
SDDs とばら栽培の関連性がよく理解できない。	60 歳代	南部
従来，HT（ハイブリッド・ティー※）は花の大きさ，形状，匂いなどをばら栽培の目標にやってきたのだから，市民に無農薬栽培への転換をアピールすべきです。 （※ハイブリッド・ティー：四季咲きで大輪の花が咲くばら）	60 歳代	北部

学区ごとにばら栽培に関する講習会などを開催して，住民にばらの魅力と関心を高める。講師はその学区内を継続して担当するように配慮する。	70 歳以上	中部

性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する	53.0	53.1	52.8	66.7	52.2	53.2	54.5
モデルとなる花壇を設置し，実証する	47.9	45.6	50.2	33.3	50.0	47.4	45.5
限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する	39.7	36.8	42.0	66.7	45.5	36.3	47.7
限りなく無農薬で栽培できるばらに関する講座を充実させる	23.7	23.4	23.8	33.3	24.6	22.2	31.8
その他	11.4	13.0	10.0	－	9.0	11.4	18.2
無回答	7.6	7.5	7.8	－	2.2	9.6	9.1

年齢別でみると，『10 歳代』では「モデルとなる花壇を設置し，実証する」の割合が高く，『70 歳以上』では「限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する	53.0	57.1	43.8	52.7	48.8	41.4	56.4	67.7
モデルとなる花壇を設置し，実証する	47.9	64.3	56.3	53.8	47.6	42.9	41.0	41.7
限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する	39.7	32.1	39.1	42.9	33.3	40.0	38.5	45.8
限りなく無農薬で栽培できるばらに関する講座を充実させる	23.7	21.4	18.8	25.3	22.6	22.9	23.1	28.1
その他	11.4	3.6	9.4	11.0	11.9	18.6	9.0	11.5
無回答	7.6	7.1	4.7	1.1	6.0	10.0	9.0	14.6

地域別でみると，『南部』『松永』では「限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する」の割合が高く，『南部』では「限りなく無農薬で栽培できるばらに関する講座を充実させる」の割合も高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する	53.0	51.3	63.3	71.4	52.7	58.4	45.0	41.9	20.0
モデルとなる花壇を設置し，実証する	47.9	51.8	40.0	57.1	41.9	39.0	50.0	51.6	60.0
限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する	39.7	38.1	56.7	39.3	36.5	42.9	47.5	25.8	40.0
限りなく無農薬で栽培できるばらに関する講座を充実させる	23.7	24.3	23.3	21.4	20.3	28.6	25.0	12.9	40.0
その他	11.4	10.6	10.0	3.6	12.2	11.7	17.5	12.9	20.0
無回答	7.6	8.8	－	－	10.8	9.1	5.0	6.5	－

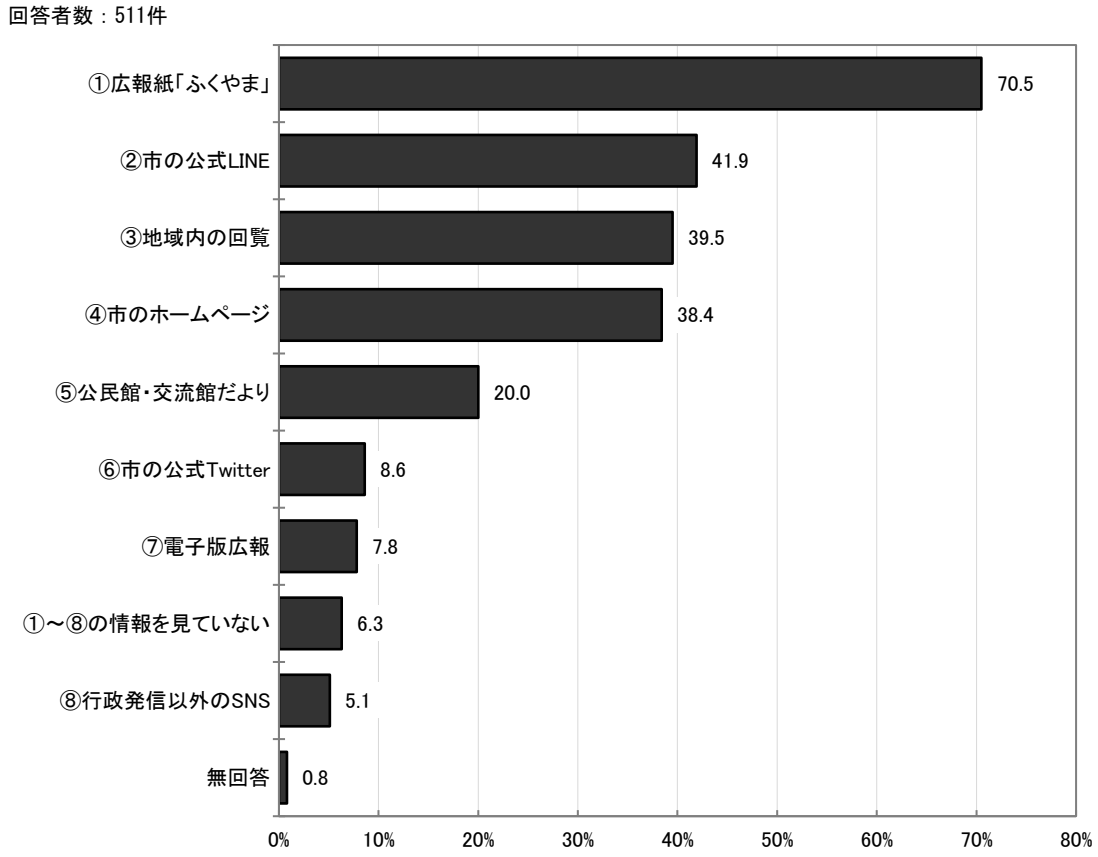
職業等別でみると，『非正規雇用労働者』『学生』では「モデルとなる花壇を設置し，実証する」の割合が高く，『主夫・主婦』では「限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する	53.0	45.8	44.4	57.1	64.8	42.6	62.6
モデルとなる花壇を設置し，実証する	47.9	48.8	60.3	51.4	35.2	66.0	41.1
限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する	39.7	33.9	42.9	45.7	44.0	40.4	41.1
限りなく無農薬で栽培できるばらに関する講座を充実させる	23.7	19.6	22.2	25.7	28.6	21.3	27.1
その他	11.4	12.5	7.9	11.4	8.8	6.4	15.9
無回答	7.6	4.2	7.9	8.6	14.3	4.3	8.4

（３）地域のデジタル化について

問１　市や地域の情報をどのような媒体で入手していますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「広報紙「ふくやま」」が 70.5%で最も高くなっています。次いで「市の公式 LINE」が 41.9%,「地域内の回覧」が 39.5%で続いています。



性別でみると,『男性』では「地域内の回覧」「公民館・交流館だより」の割合が高く,『女性』では「市の公式 LINE」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると,『はい（子育て世帯）』では「広報紙「ふくやま」」「市の公式 LINE」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
①広報紙「ふくやま」	70.5	70.3	71.4	－	76.1	70.0	56.8
②市の公式LINE	41.9	35.6	47.6	33.3	64.2	34.8	27.3
③地域内の回覧	39.5	45.2	34.2	66.7	31.3	41.1	52.3
④市のホームページ	38.4	41.4	35.7	33.3	38.1	37.5	45.5
⑤公民館・交流館だより	20.0	25.1	15.6	－	9.0	24.3	20.5
⑥市の公式Twitter	8.6	6.7	10.0	33.3	9.0	8.1	11.4
⑦電子版広報	7.8	8.8	7.1	－	11.2	6.6	6.8
①～⑧の情報を見ていない	6.3	6.3	6.3	－	3.0	7.5	6.8
⑧行政発信以外のSNS	5.1	6.3	4.1	－	7.5	4.5	2.3
無回答	0.8	0.8	0.7	－	－	1.2	－

年齢別でみると，『10 歳代』では「市の公式 Twitter」の割合が高く，『30 歳代』『40 歳代』では「市の公式 LINE」の割合が高く，『60 歳代』『70 歳以上』では「広報紙「ふくやま」」「地域内の回覧」「公民館・交流館だより」の割合が高くなっています。また，『10 歳代』『20 歳代』では「上記①～⑧の情報を見ていない」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
①広報紙「ふくやま」	70.5	32.1	35.9	63.7	73.8	78.6	92.3	84.4
②市の公式LINE	41.9	35.7	50.0	62.6	54.8	47.1	24.4	17.7
③地域内の回覧	39.5	21.4	12.5	28.6	32.1	38.6	55.1	67.7
④市のホームページ	38.4	28.6	31.3	42.9	45.2	44.3	38.5	31.3
⑤公民館・交流館だより	20.0	7.1	1.6	12.1	9.5	21.4	30.8	42.7
⑥市の公式Twitter	8.6	32.1	14.1	9.9	8.3	8.6	1.3	3.1
⑦電子版広報	7.8	3.6	7.8	13.2	9.5	5.7	5.1	6.3
①～⑧の情報を見ていない	6.3	21.4	21.9	3.3	4.8	1.4	2.6	2.1
⑧行政発信以外のSNS	5.1	3.6	4.7	8.8	3.6	7.1	2.6	4.2
無回答	0.8	–	–	–	–	1.4	–	3.1

地域別でみると，『南部』『東部』『神辺』では「広報紙「ふくやま」」の割合が高く，『南部』『神辺』では「地域内の回覧」の割合も高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
①広報紙「ふくやま」	70.5	70.4	86.7	57.1	68.9	81.8	85.0	35.5	–
②市の公式LINE	41.9	51.3	43.3	46.4	21.6	35.1	35.0	41.9	40.0
③地域内の回覧	39.5	37.2	53.3	25.0	47.3	46.8	52.5	9.7	–
④市のホームページ	38.4	38.1	40.0	39.3	39.2	36.4	37.5	41.9	40.0
⑤公民館・交流館だより	20.0	17.7	26.7	17.9	28.4	24.7	20.0	3.2	–
⑥市の公式Twitter	8.6	11.1	3.3	7.1	5.4	5.2	5.0	12.9	40.0
⑦電子版広報	7.8	9.3	13.3	7.1	6.8	6.5	2.5	3.2	20.0
①～⑧の情報を見ていない	6.3	4.0	–	7.1	8.1	6.5	2.5	22.6	40.0
⑧行政発信以外のSNS	5.1	7.1	3.3	10.7	1.4	5.2	–	3.2	–
無回答	0.8	0.9	–	–	1.4	1.3	–	–	–

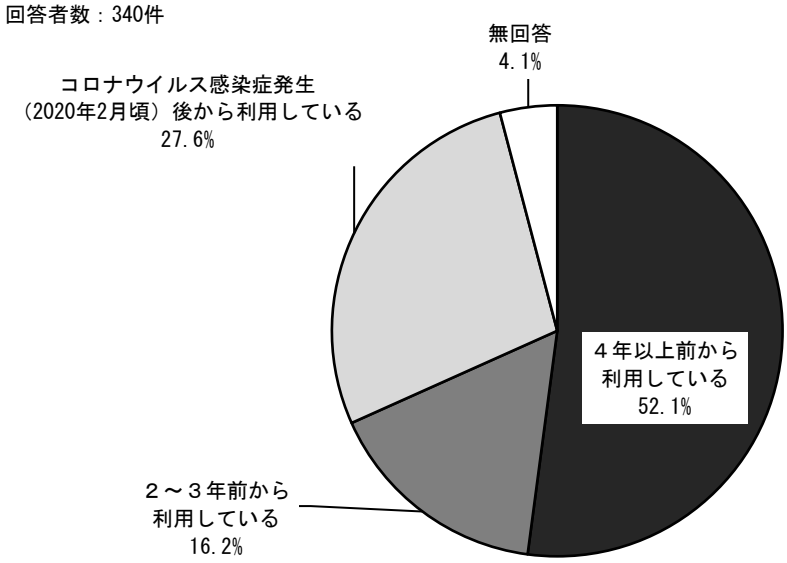
職業等別でみると，『正規雇用労働者』『非正規雇用労働者』では「市の公式 LINE」の割合が高く，『自営業』『主夫・主婦』では「広報紙「ふくやま」」「地域内の回覧」の割合が高く，『自営業』では「地域内の回覧」の割合も高く，『学生』では「市の公式 Twitter」「上記①～⑧の情報を見ていない」の割合が高くなっています。また，『学生』以外の全ての職業等で「広報「ふくやま」」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
①広報紙「ふくやま」	70.5	64.9	73.0	88.6	82.4	31.9	78.5
②市の公式LINE	41.9	52.4	55.6	31.4	38.5	36.2	26.2
③地域内の回覧	39.5	25.0	39.7	62.9	50.5	14.9	56.1
④市のホームページ	38.4	38.1	38.1	48.6	33.0	31.9	43.0
⑤公民館・交流館だより	20.0	10.7	20.6	22.9	28.6	6.4	31.8
⑥市の公式Twitter	8.6	7.7	12.7	2.9	4.4	27.7	4.7
⑦電子版広報	7.8	7.7	12.7	8.6	3.3	8.5	8.4
①～⑧の情報を見ていない	6.3	7.1	1.6	8.6	2.2	21.3	3.7
⑧行政発信以外のSNS	5.1	7.1	4.8	5.7	2.2	4.3	4.7
無回答	0.8	0.6	–	–	3.3	–	–

【問１で市や地域の情報を「②④⑥⑦⑧の電子媒体」から入手していると回答された方にお聞きします。】

問２　スマートフォンやタブレット等の利用状況について，次の中から当てはまるもの１つに「○」を記入してください。【単数回答】

「4年以上前から利用している」が 52.1%を占めています。



性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『いいえ（子育て世帯以外）』では「4年以上前から利用している」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	340	153	185	2	110	198	32
4年以上前から利用している	52.1	55.6	49.7	－	46.4	57.1	40.6
2～3年前から利用している	16.2	17.6	15.1	－	17.3	16.2	12.5
コロナウイルス感染症発生（2020年2月頃）後から利用している	27.6	22.9	31.4	50.0	31.8	23.2	40.6
無回答	4.1	3.9	3.8	50.0	4.5	3.5	6.3

年齢別でみると，大きな差はみられませんが，『10 歳代』『20 歳代』『30 歳代』『70 歳以上』で「コロナウイルス感染症発生（2020 年 2 月頃）後から利用している割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	340	19	44	77	66	50	44	40
4年以上前から利用している	52.1	52.6	47.7	50.6	60.6	44.0	61.4	45.0
2～3年前から利用している	16.2	10.5	9.1	14.3	18.2	26.0	11.4	20.0
コロナウイルス感染症発生（2020年2月頃）後から利用している	27.6	31.6	31.8	33.8	19.7	28.0	20.5	30.0
無回答	4.1	5.3	11.4	1.3	1.5	2.0	6.8	5.0

地域別でみると，『神辺』では「コロナウイルス感染症発生（2020 年 2 月頃）後から利用している」の割合が高くなっています。

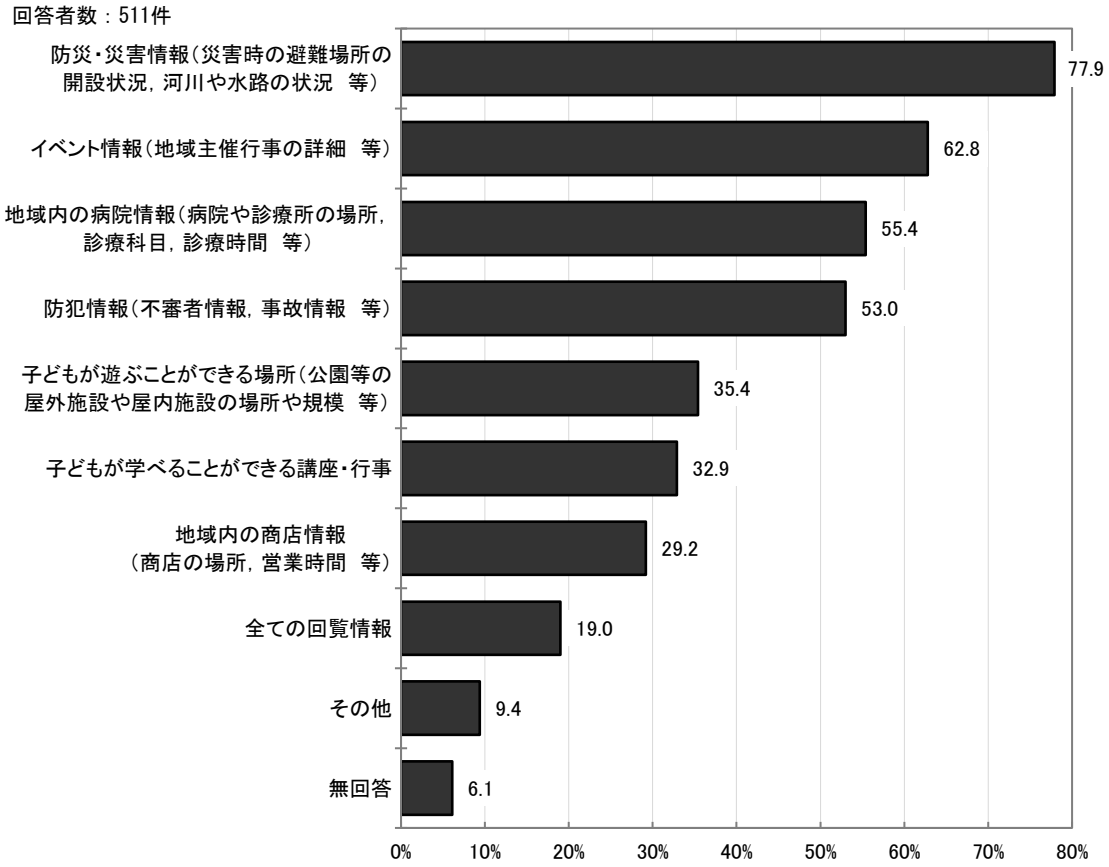
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	340	167	22	21	39	44	25	19	3
4年以上前から利用している	52.1	55.1	59.1	42.9	59.0	43.2	40.0	52.6	33.3
2～3年前から利用している	16.2	15.6	13.6	23.8	15.4	20.5	16.0	10.5	－
コロナウイルス感染症発生（2020年2月頃）後から利用している	27.6	23.4	22.7	28.6	23.1	36.4	40.0	36.8	66.7
無回答	4.1	6.0	4.5	4.8	2.6	－	4.0	－	－

職業等別でみると，『自営業』では「4年以上前から利用している」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	340	121	46	21	55	32	65
4年以上前から利用している	52.1	49.6	47.8	66.7	45.5	59.4	56.9
2～3年前から利用している	16.2	19.0	19.6	14.3	16.4	3.1	15.4
コロナウイルス感染症発生（2020年2月頃）後から利用している	27.6	27.3	32.6	9.5	30.9	34.4	24.6
無回答	4.1	4.1	－	9.5	7.3	3.1	3.1

問３　どのような地域情報がスマートフォンやタブレット等から見られたらよいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）」が 77.9％で最も高くなっています。次いで「イベント情報（地域主催行事の詳細　等）」が 62.8％，「地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）」が 55.4％で続いています。



【回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
ごみの収集に関すること	30 歳代	中部
無料 Wi-Fi の設置場所	30 歳代	中部
必要なケースに応じて必要な手続き及びその詳細サイトへジャンプできる内容	30 歳代	南部
保育所の空き情報，放課後等デイサービスや移動支援など福祉サービスの空き情報	30 歳代	東部
小児休日診療待合時間	30 歳代	松永
市主催以外のイベント情報もまとめて発信してほしい	40 歳代	中部
公共交通機関時刻表	40 歳代	市内（小学校区不明）
公共施設の予約（空き）情報	60 歳代	中部

性別でみると，『女性』では「子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模等）」「子どもが学べることができる講座・行事」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「イベント情報（地域主催行事の詳細　等）」「地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）」「防犯情報（不審者情報，事故情報　等）」「子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）」「子どもが学べることができる講座・行事」「地域内の商店情報（商店の場所，営業時間　等）」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）	77.9	77.4	78.4	66.7	77.6	76.6	88.6
イベント情報（地域主催行事の詳細　等）	62.8	61.5	63.9	66.7	76.1	58.3	56.8
地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）	55.4	53.6	57.2	33.3	64.9	51.4	56.8
防犯情報（不審者情報，事故情報　等）	53.0	49.0	56.5	66.7	59.0	49.8	59.1
子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）	35.4	29.3	40.9	33.3	67.2	24.0	25.0
子どもが学べることができる講座・行事	32.9	27.2	37.9	33.3	62.7	21.9	25.0
地域内の商店情報（商店の場所，営業時間　等）	29.2	30.5	28.3	－	39.6	25.8	22.7
全ての回覧情報	19.0	22.6	15.6	33.3	22.4	18.0	15.9
その他	9.4	8.8	10.0	－	8.2	9.9	9.1
無回答	6.1	5.9	5.9	33.3	3.7	7.2	4.5

年齢別でみると，『10　歳代』では「防犯情報（不審者情報，事故情報　等）」の割合が高く，『30　歳代』『40歳代』では「イベント情報（地域主催行事の詳細　等）」「子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）」「子どもが学べることができる講座・行事」の割合が高くなっています。また，全ての年齢で「防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）	77.9	71.4	76.6	81.3	83.3	82.9	74.4	71.9
イベント情報（地域主催行事の詳細　等）	62.8	71.4	64.1	73.6	75.0	65.7	50.0	46.9
地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）	55.4	35.7	46.9	64.8	63.1	54.3	56.4	51.0
防犯情報（不審者情報，事故情報　等）	53.0	64.3	53.1	61.5	54.8	52.9	44.9	46.9
子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）	35.4	28.6	42.2	57.1	46.4	22.9	26.9	18.8
子どもが学べることができる講座・行事	32.9	21.4	29.7	54.9	48.8	20.0	26.9	17.7
地域内の商店情報（商店の場所，営業時間　等）	29.2	17.9	37.5	34.1	38.1	32.9	20.5	18.8
全ての回覧情報	19.0	7.1	7.8	22.0	19.0	24.3	19.2	22.9
その他	9.4	－	－	13.2	10.7	10.0	7.7	14.6
無回答	6.1	3.6	7.8	2.2	1.2	4.3	11.5	10.4

地域別でみると，『東部』では「地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）」の割合が高く，『神辺』では「防犯情報（不審者情報，事故情報　等）」の割合が高くなっています。

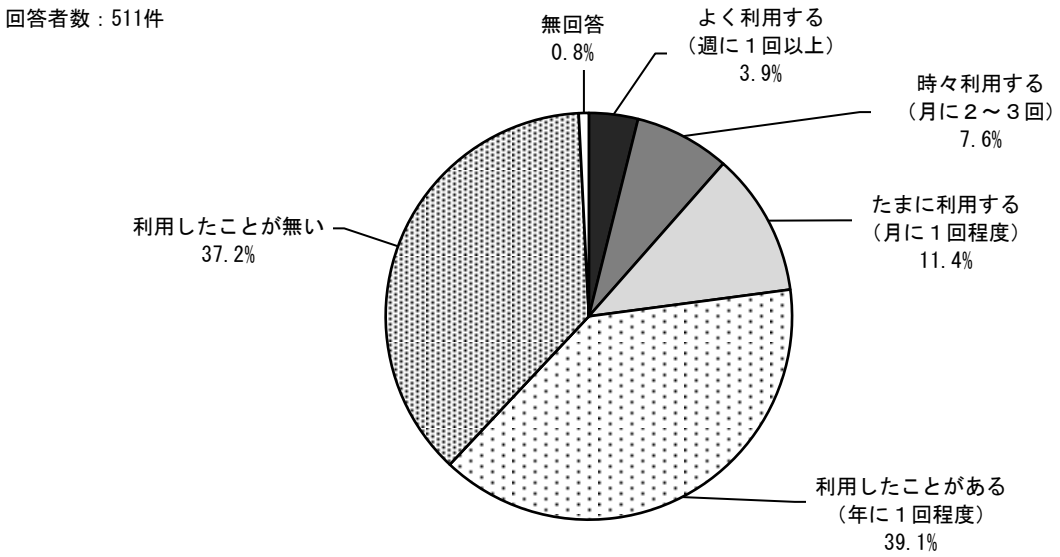
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）	77.9	76.1	76.7	82.1	70.3	84.4	80.0	87.1	80.0
イベント情報（地域主催行事の詳細　等）	62.8	70.4	56.7	57.1	45.9	61.0	57.5	71.0	60.0
地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）	55.4	52.2	53.3	60.7	50.0	67.5	52.5	67.7	20.0
防犯情報（不審者情報，事故情報　等）	53.0	51.8	53.3	42.9	45.9	54.5	65.0	67.7	60.0
子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）	35.4	38.5	36.7	21.4	25.7	36.4	40.0	45.2	－
子どもが学べることができる講座・行事	32.9	33.2	36.7	17.9	27.0	36.4	35.0	45.2	20.0
地域内の商店情報（商店の場所，営業時間　等）	29.2	30.5	26.7	17.9	23.0	36.4	12.5	45.2	60.0
全ての回覧情報	19.0	19.0	26.7	21.4	24.3	14.3	15.0	12.9	20.0
その他	9.4	8.8	13.3	3.6	8.1	11.7	12.5	9.7	－
無回答	6.1	5.8	10.0	3.6	8.1	7.8	5.0	－	－

職業等別でみると，『非正規雇用労働者』では「子どもが学べることができる講座・行事」の割合が高く，『自営業』では「イベント情報（地域主催行事の詳細　等）」「地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）」「子どもが学べることができる講座・行事」「地域内の商店情報（商店の場所，営業時間等）」の割合が高く，『学生』では「防犯情報（不審者情報，事故情報　等）」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
防災・災害情報（災害時の避難場所の開設状況，河川や水路の状況　等）	77.9	80.4	77.8	80.0	73.6	78.7	76.6
イベント情報（地域主催行事の詳細　等）	62.8	70.8	63.5	74.3	51.6	66.0	54.2
地域内の病院情報（病院や診療所の場所，診療科目，診療時間　等）	55.4	60.7	50.8	65.7	52.7	34.0	57.9
防犯情報（不審者情報，事故情報　等）	53.0	49.4	57.1	45.7	50.5	68.1	54.2
子どもが遊ぶことができる場所（公園等の屋外施設や屋内施設の場所や規模　等）	35.4	40.5	42.9	34.3	38.5	29.8	23.4
子どもが学べることができる講座・行事	32.9	35.1	42.9	45.7	34.1	23.4	22.4
地域内の商店情報（商店の場所，営業時間　等）	29.2	34.5	33.3	48.6	18.7	25.5	22.4
全ての回覧情報	19.0	18.5	20.6	28.6	17.6	6.4	22.4
その他	9.4	9.5	12.7	2.9	9.9	－	13.1
無回答	6.1	5.4	9.5	2.9	7.7	2.1	6.5

問４　公民館等の施設を利用したことがありますか。次の中から当てはまるもの１つに「○」を記入してください。【単数回答】

「利用したことがある（年に1回程度）」が 39.1%で最も高くなっています。次いで「利用したことが無い」が37.2%，「たまに利用する（月に1回程度）」が 11.4%で続いています。



性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「利用したことがある（年に1回程度）」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
よく利用する （週に1回以上）	3.9	4.2	3.7	－	0.7	5.4	2.3
時々利用する （月に2～3回）	7.6	8.4	7.1	－	6.0	9.3	－
たまに利用する（月に1回程度）	11.4	13.0	10.0	－	12.7	11.4	6.8
利用したことがある（年に1回程度）	39.1	34.3	43.5	33.3	49.3	35.1	38.6
利用したことが無い	37.2	39.3	34.9	66.7	31.3	37.5	52.3
無回答	0.8	0.8	0.7	－	－	1.2	－

年齢別でみると，『10 歳代』『20 歳代』『30 歳代』では「利用したことが無い」の割合が高く，『40 歳代』では「利用したことがある（年に1回程度）」の割合が高く，『70 歳以上』では「時々利用する （月に2～3回）」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
よく利用する （週に1回以上）	3.9	－	3.1	－	1.2	5.7	6.4	8.3
時々利用する （月に2～3回）	7.6	－	－	3.3	6.0	5.7	6.4	22.9
たまに利用する（月に1回程度）	11.4	3.6	4.7	13.2	11.9	14.3	12.8	12.5
利用したことがある（年に1回程度）	39.1	39.3	35.9	36.3	50.0	37.1	47.4	29.2
利用したことが無い	37.2	57.1	56.3	47.3	31.0	37.1	26.9	22.9
無回答	0.8	－	－	－	－	－	－	4.2

地域別でみると，『南部』では「たまに利用する（月に1回程度）」の割合が高く，『神辺』では「利用したことがある（年に1回程度）」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
よく利用する （週に1回以上）	3.9	3.1	–	7.1	9.5	2.6	5.0	–	–
時々利用する （月に2～3回）	7.6	9.3	13.3	7.1	6.8	7.8	2.5	–	–
たまに利用する（月に1回程度）	11.4	11.1	23.3	14.3	12.2	13.0	5.0	3.2	–
利用したことがある（年に1回程度）	39.1	41.6	26.7	46.4	36.5	37.7	52.5	22.6	20.0
利用したことが無い	37.2	34.1	36.7	25.0	33.8	39.0	32.5	74.2	80.0
無回答	0.8	0.9	–	–	1.4	–	2.5	–	–

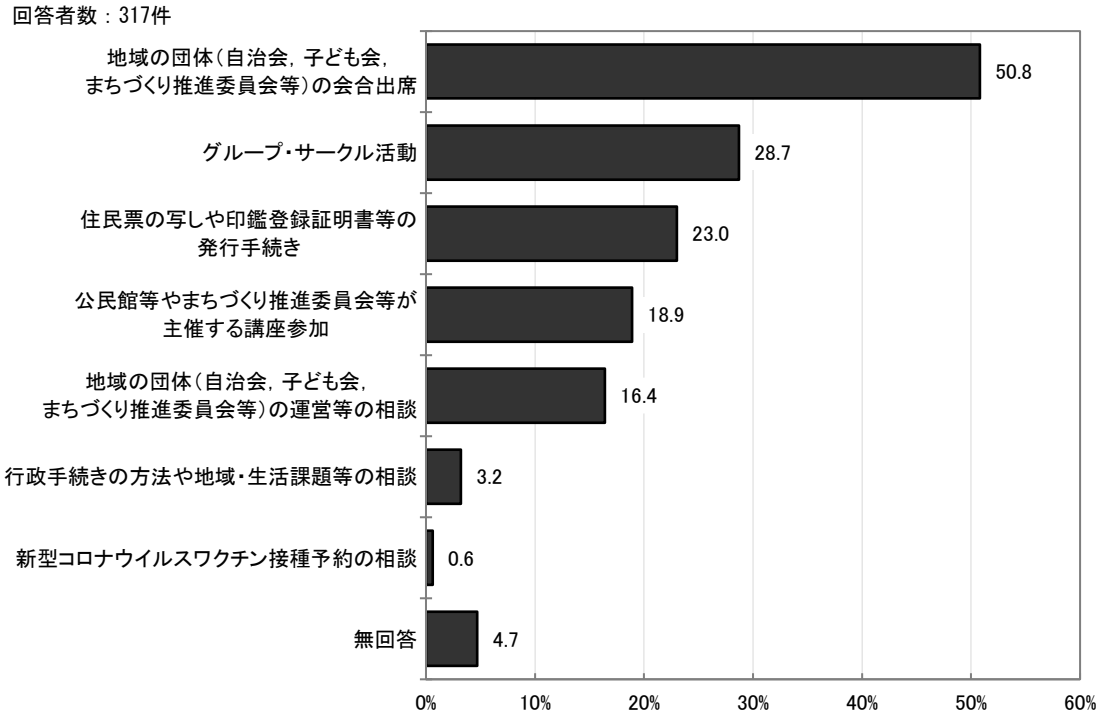
職業等別でみると，『正規雇用労働者』『学生』では「利用したことが無い」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
よく利用する （週に1回以上）	3.9	0.6	3.2	8.6	6.6	4.3	5.6
時々利用する （月に2～3回）	7.6	2.4	7.9	8.6	16.5	–	11.2
たまに利用する（月に1回程度）	11.4	13.1	11.1	20.0	9.9	2.1	11.2
利用したことがある（年に1回程度）	39.1	36.3	44.4	45.7	36.3	38.3	41.1
利用したことが無い	37.2	47.6	33.3	17.1	27.5	55.3	29.9
無回答	0.8	–	–	–	3.3	–	0.9

【問４で「年に１回程度以上利用する」と回答された方にお聞きします。】

問５　利用目的は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。
【複数回答】

「地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席」が 50.8％で最も高くなっています。次いで「グループ・サークル活動」が 28.7％，「住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き」が 23.0％で続いています。



性別でみると，『男性』では「地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加」の割合が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	317	143	173	1	92	204	21
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席	50.8	*57.3*	*45.7*	－	52.2	50.0	52.4
グループ・サークル活動	28.7	*23.1*	33.5	－	26.1	29.9	28.6
住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き	23.0	25.2	21.4	－	18.5	25.5	19.0
公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加	18.9	19.6	18.5	－	*12.0*	22.1	19.0
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の運営等の相談	16.4	19.6	13.9	－	15.2	17.6	*9.5*
行政手続きの方法や地域・生活課題等の相談	3.2	3.5	2.9	－	4.3	2.9	－
新型コロナウイルスワクチン接種予約の相談	0.6	0.7	0.6	－	－	1.0	－
無回答	4.7	4.9	4.0	100.0	4.3	4.9	4.8

年齢別でみると，『10 歳代』『20 歳代』では「グループ・サークル活動」の割合が高く，『40 歳代』『60 歳代』では「地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席」の割合が高く，『70 歳以上』では「公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	317	12	28	48	58	44	57	70
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席	50.8	33.3	35.7	39.6	62.1	59.1	63.2	42.9
グループ・サークル活動	28.7	41.7	39.3	25.0	24.1	18.2	24.6	38.6
住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き	23.0	25.0	17.9	29.2	12.1	22.7	31.6	22.9
公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加	18.9	8.3	10.7	8.3	15.5	13.6	21.1	35.7
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の運営等の相談	16.4	－	10.7	8.3	20.7	13.6	19.3	22.9
行政手続きの方法や地域・生活課題等の相談	3.2	－	10.7	2.1	1.7	2.3	3.5	2.9
新型コロナウイルスワクチン接種予約の相談	0.6	－	－	－	－	－	－	2.9
無回答	4.7	8.3	7.1	4.2	5.2	2.3	1.8	7.1

地域別でみると，『南部』では「グループ・サークル活動」の割合が高く，『松永』では「地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席」の割合が高くなっています。

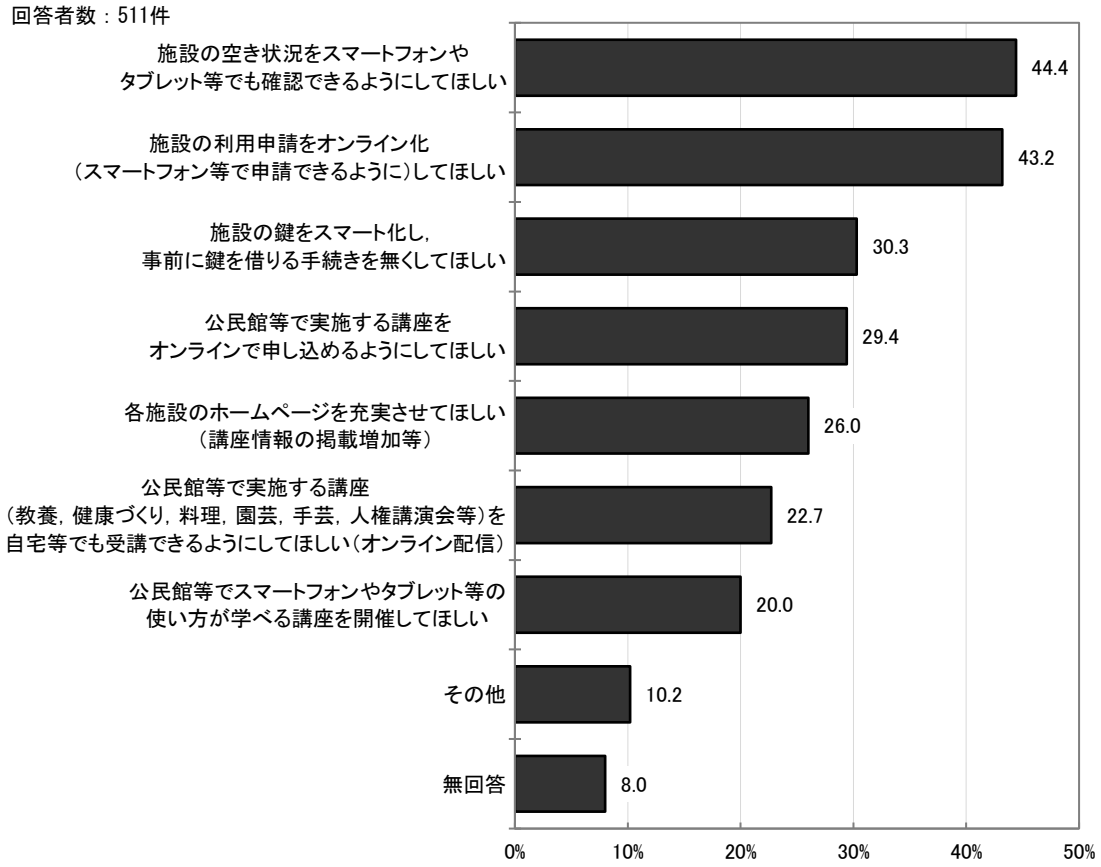
	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	317	147	19	21	48	47	26	8	1
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の会合出席	50.8	52.4	36.8	61.9	45.8	55.3	53.8	25.0	－
グループ・サークル活動	28.7	28.6	42.1	9.5	29.2	27.7	34.6	25.0	100.0
住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き	23.0	29.3	21.1	14.3	18.8	17.0	11.5	37.5	－
公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加	18.9	18.4	21.1	14.3	20.8	23.4	19.2	－	－
地域の団体（自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等）の運営等の相談	16.4	16.3	21.1	9.5	22.9	8.5	23.1	12.5	－
行政手続きの方法や地域・生活課題等の相談	3.2	3.4	5.3	－	2.1	2.1	3.8	－	100.0
新型コロナウイルスワクチン接種予約の相談	0.6	0.7	－	－	2.1	－	－	－	－
無回答	4.7	4.1	－	14.3	6.3	4.3	3.8	－	－

職業等別でみると,『自営業』では「地域の団体(自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等)の会合出席」の割合が高く,『主夫・主婦』では「公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加」の割合が高くなっています。

	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	317	88	42	29	63	21	74
地域の団体(自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等)の会合出席	50.8	58.0	54.8	*72.4*	*38.1*	*33.3*	47.3
グループ・サークル活動	28.7	*15.9*	31.0	37.9	38.1	38.1	28.4
住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き	23.0	22.7	21.4	20.7	25.4	23.8	23.0
公民館等やまちづくり推進委員会等が主催する講座参加	18.9	*8.0*	11.9	24.1	*33.3*	9.5	24.3
地域の団体(自治会，子ども会，まちづくり推進委員会等)の運営等の相談	16.4	15.9	11.9	17.2	20.6	－	20.3
行政手続きの方法や地域・生活課題等の相談	3.2	2.3	4.8	－	－	－	8.1
新型コロナウイルスワクチン接種予約の相談	0.6	－	－	3.4	1.6	－	－
無回答	4.7	5.7	2.4	－	6.3	9.5	4.1

問６　公民館等の施設において，どのようなデジタル化に取り組んでほしいですか。取り組んでほしいこと全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」が 44.4%で最も高くなっています。次いで「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」が 43.2%，「施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」が 30.3%で続いています。



【その他回答（抜粋）】

内　容	年代	地域
まず，公民館で何をしているのか，誰が参加できるのかの情報がどこでわかるのかがわからないので，デジタル配信してほしい	30 歳代	中部
公共の施設を平等に申請・利用・使用したい。平日，日中勤務者は不利である	30 歳代	南部
公民館等での教室や地域での活動をオンラインで見れるようにしてほしい(掲示板等も)	30 歳代	北部
今のデジタル化という流行に流されすぎていたら，大切なものを失ってしまう。アナログでなければならないことも必要。	40 歳代	市内（小学校区不明）
施設がデジタル化されても，それを見る家庭のネット環境が充実していないと意味がない	40 歳代	北部
小さな子どもがいるので，自宅で講座が受けられると助かる。自身の楽しみにもつながる	40 歳代	中部
デジタル化することにより現時点では高齢者を除外することになるため止めたほうがよい	40 歳代	東部
災害時にも活用できるようにしてほしい	40 歳代	中部
できるだけスマホや PC の使い方の講座を繰り返しやってもらいたい	60 歳代	中部
スマートフォン，タブレットを保有していないため不可能	70 歳以上	北部

性別でみると，大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると，『はい（子育て世帯）』では「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」「施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」「公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	511	239	269	3	134	333	44
施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい	44.4	41.4	47.2	33.3	62.7	37.5	40.9
施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい	43.2	43.1	43.5	33.3	61.2	37.2	34.1
施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい	30.3	31.4	29.0	66.7	39.6	27.0	27.3
公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい	29.4	26.8	32.0	－	35.1	25.5	40.9
各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）	26.0	25.9	26.0	33.3	30.6	25.2	18.2
公民館等で実施する講座（教養，健康づくり，料理，園芸，手芸，人権講演会等）を自宅等でも受講できるようにしてほしい（オンライン配信）	22.7	24.3	21.2	33.3	20.9	22.8	27.3
公民館等でスマートフォンやタブレット等の使い方が学べる講座を開催してほしい	20.0	24.3	16.0	33.3	9.7	24.6	15.9
その他	10.2	11.3	9.3	－	6.7	11.7	9.1
無回答	8.0	8.8	7.4	－	0.7	9.9	15.9

年齢別でみると，『20 歳代』『30 歳代』では「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」の割合が高く，『30 歳代』では「各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）」の割合も高く，『40 歳代』では「施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」の割合が高く，『60 歳代』『70 歳以上』では「公民館等でスマートフォンやタブレット等の使い方が学べる講座を開催してほしい」の割合が高くなっています。

	全体	年齢の項目						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	511	28	64	91	84	70	78	96
施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい	44.4	53.6	59.4	56.0	53.6	45.7	26.9	26.0
施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい	43.2	39.3	56.3	62.6	52.4	44.3	23.1	25.0
施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい	30.3	35.7	32.8	34.1	40.5	35.7	17.9	20.8
公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい	29.4	25.0	28.1	38.5	36.9	30.0	23.1	20.8
各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）	26.0	17.9	17.2	38.5	28.6	27.1	26.9	18.8
公民館等で実施する講座（教養，健康づくり，料理，園芸，手芸，人権講演会等）を自宅等でも受講できるようにしてほしい（オンライン配信）	22.7	17.9	21.9	18.7	26.2	21.4	23.1	26.0
公民館等でスマートフォンやタブレット等の使い方が学べる講座を開催してほしい	20.0	10.7	6.3	8.8	10.7	17.1	33.3	41.7
その他	10.2	3.6	3.1	7.7	15.5	10.0	6.4	17.7
無回答	8.0	3.6	－	－	－	7.1	20.5	19.8

地域別でみると，『南部』では「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」の割合が高く，『松永』では「施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」の割合が高く，『市内（小学校区不明）』では「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」「各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）」の割合が高くなっています。

	全体	地域							
		中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内（小学校区不明）	市外
回答数	511	226	30	28	74	77	40	31	5
施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい	44.4	50.0	60.0	53.6	29.7	41.6	30.0	38.7	60.0
施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい	43.2	46.0	53.3	42.9	33.8	40.3	32.5	54.8	60.0
施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい	30.3	33.6	36.7	42.9	23.0	28.6	25.0	12.9	60.0
公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい	29.4	31.4	36.7	28.6	23.0	33.8	20.0	22.6	40.0
各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）	26.0	27.9	23.3	21.4	20.3	24.7	22.5	38.7	40.0
公民館等で実施する講座（教養，健康づくり，料理，園芸，手芸，人権講演会等）を自宅等でも受講できるようにしてほしい（オンライン配信）	22.7	23.0	30.0	14.3	24.3	28.6	12.5	19.4	－
公民館等でスマートフォンやタブレット等の使い方が学べる講座を開催してほしい	20.0	20.4	26.7	10.7	20.3	23.4	20.0	12.9	－
その他	10.2	9.3	10.0	3.6	16.2	10.4	10.0	9.7	－
無回答	8.0	7.1	－	7.1	10.8	13.0	10.0	3.2	－

職業等別でみると，『非正規雇用労働者』では「施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」の割合が高く，『自営業』では「公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい」「各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）」「公民館等で実施する講座（教養，健康づくり，料理，園芸，手芸，人権講演会等）を自宅等でも受講できるようにしてほしい（オンライン配信）」の割合が高く，『学生』では「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」「施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい」の割合が高くなっています。

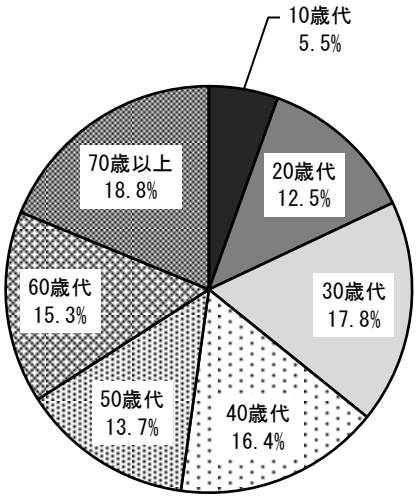
	全体	職業等					
		正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	511	168	63	35	91	47	107
施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい	44.4	45.8	52.4	54.3	31.9	59.6	38.3
施設の利用申請をオンライン化（スマートフォン等で申請できるように）してほしい	43.2	48.8	52.4	48.6	30.8	53.2	33.6
施設の鍵をスマート化し，事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい	30.3	34.5	42.9	31.4	18.7	34.0	24.3
公民館等で実施する講座をオンラインで申し込めるようにしてほしい	29.4	29.2	34.9	48.6	26.4	25.5	24.3
各施設のホームページを充実させてほしい（講座情報の掲載増加等）	26.0	27.4	22.2	40.0	25.3	17.0	26.2
公民館等で実施する講座（教養，健康づくり，料理，園芸，手芸，人権講演会等）を自宅等でも受講できるようにしてほしい（オンライン配信）	22.7	19.6	19.0	37.1	25.3	21.3	23.4
公民館等でスマートフォンやタブレット等の使い方が学べる講座を開催してほしい	20.0	14.3	12.7	22.9	27.5	8.5	30.8
その他	10.2	8.9	7.9	14.3	14.3	4.3	11.2
無回答	8.0	4.2	9.5	8.6	13.2	2.1	11.2

（４）属性

①　年齢

「70 歳以上」が 18.8%で最も高くなっています。次いで「30 歳代」が 17.8%,「40 歳代」が 16.4%で続いています。

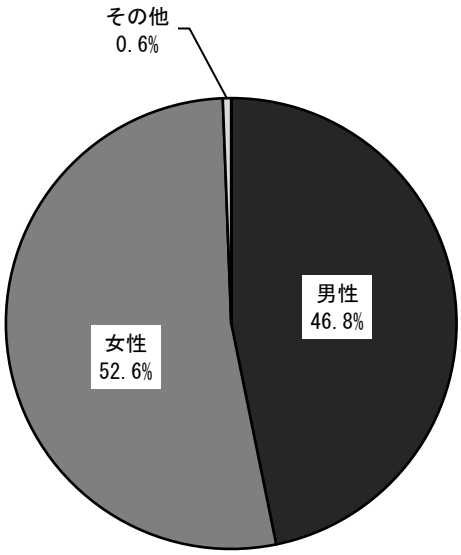
回答者数：511件



②　性別

「女性」が 52.6%を占めています。

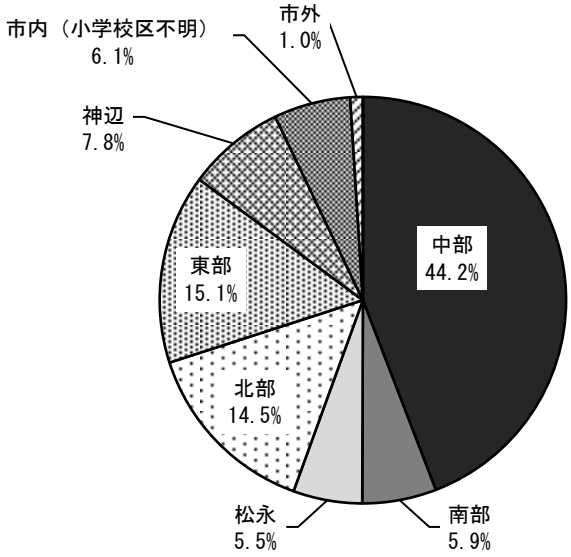
回答者数：511件



③　地域

「中部」が 44.2%で最も高くなっています。次いで「東部」が 15.1%,「北部」が 14.5%で続いています。

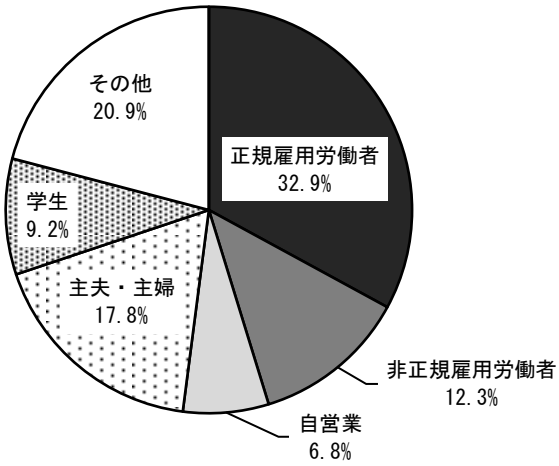
回答者数：511件



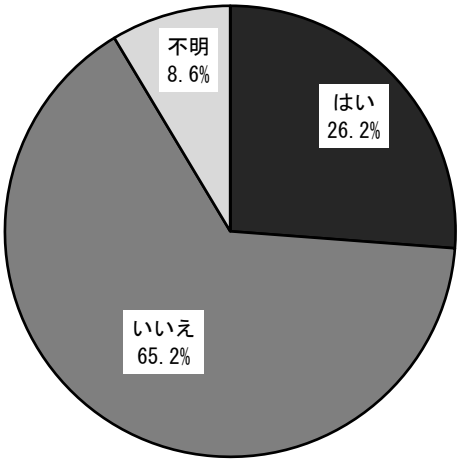
④　職業等

「正規雇用労働者」が 32.9%で最も高くなっています。次いで「主夫・主婦」が 17.8%,「非正規雇用労働者」が 12.3%で続いています。

回答者数：511件



⑤　子育て世帯

「いいえ」が 65.2%を占めています。

回答者数：511件